

リマス、其ノ數量ニ付キマシテハ、大體此處デ先日來申シマシタヤウニ、計畫的ニ海外へ出得ルダラウト思ハレル大體ノ數量ヲ豫定致シマシテ、無暗ニ多ク輸出絲ヲ造ラセテ置イテ海外へ出ス積リデアツタモノヲ多クシテ置イタノデハ、一朝有事ノ場合ニ於テ狼狽スルヤウナコトニナルノデアリマス、出來得ル限り見透シヲ付ケマシテ、其ノ程度ニ輸出絲ヲ制限致シマシテ、或ハ誰デモ造レルヤウナ形ニシテ置イタノデハ、又廣イ範圍デ狼狽スル人ガ多イト云フヤウナコトモアリマスカラ、是ハ技術ノ上ニ於テ適當ナ製絲家ヲ指定致シマンテ、其ノ範圍ノ人達ニ豫定サレタ數量ヲ割當テ造ラセテ行ク、斯様ナ關係カラ數量ノ調節ハ之ヲヤリマシテ、價格ノ維持ニ努メルト云フ意味カラ、數量ノ統制ト申シマスルカ、調整ヲヤルコトハ當然デアリマス、問題ハ價格ノ問題デアリマスルガ、今モ仰セニナリマシタヤウニ、殊ニ斯ウ云フ際デアリマスカラ取レルダケ海外カラ金ヲ取ルト云ツタヤウナ考へ方モ無論イケナイノデアリマス、海外デ買ツテ差支ナイ限りニ於テハ、値段ハ高ク取レルモノナラ取ル方ガ外貨獲得上宜シイ、斯ウ云フ考へハ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ考へ方デ外貨獲得上最モ有利ナ販賣ノ方法ハドウ云フ手段ニ依ツタラ宜カラウカ、斯ウ云フコトガ最モ根本ノ問題ナノデアリマシテ、價格ノ安定ヲ圖ル爲ニ出來得ル限り幅ノ狭イ範圍ニ於テ最高最低ヲ決メマシテ、最低ニ參リマスレバシ放題ニシテ置クト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、價格ノ安定ヲ圖ル爲ニ出來得ル限り幅ノ狭イ範圍ニ於テ最

ヤウナコトノナイヤウニ、豫定サレタ值以上ニ上ラスヤウニココデ抑ヘル、ソレハ會社ガ先ツ第一ニ賣リ向フ、又政府モ御承知ノヤウニ相當澤山絲ヲ持ツテ居リマスカラ、政府モ賣出ス、斯ウ云フコトニ依ツテ確實ニ上値ヲ抑ヘマシテ、餘リニ暴騰スルコトヲ防止スル、又下ツテ來マスル場合ニハ會社ガ一定値デ買ツテ値下リフ防止スル、斯様ナ形ニ於テ數量ノ點ニ於キマシテモ、價格ノ點ニ於キマシテモ、決シテ野放シト云フコトヲ考ヘて居ルノデハナノイデ、斯様ナ形、斯様ナ方法ニ依ツテ輸出ノ方ノ部面ヲ統制スルノデアリマス、全ク無統制トアリマス、徹底シタ統制ラシテ、會社ガ全部云フコトニスルノデハナインデアリマス、斯様ナ方法ト考ヘ方デ統制シテ行ク方ガ外貨獲得上有利デアル、斯ウ考ヘて居ルノデアリマス、徹底シタ統制ラシテ、會社ガ一手デ一手ニ買ツテ、自分ノ決メタ値デ賣ツテ行クト云フヤウナ方法ニ依ル統制ハ、外國ニ物ウカ、斯ウ云フ所ニ問題ガアルノデアリマシテ、ヲ流シ外貨獲得上有利ナ値段デ賣ツテ行クト云フ考ヘ方カラ見テ、果シテウマク行クカドウカ、斯ウ云フ所ニ問題ガアルノデアリマシテ、先般來度々申シマシタヤウニ、會社ガ一手デ買ツテ、ソレヲ自分ノ都合ノ好イヤウニ、外貨獲得上都合ノ好イヤウナ賣値ヲ、賣人側ノ會社ガ獨リデ抱へ込ンダ荷物デ決メテ置イテ、サウシテ賣向ツテ行クト云フヤウナコトハ、中々結果ガウマク行カヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテ、先程申シマシタヤウナ方法ニ依ル統制ヲ行ツテ行ク方ガ宜イノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デア

云フ「ハイブ」ヲ通シテ考ヘラレナケレバ
ラヌノデハナイカ、サウシナケレバ國內ヘ
ノ統制及び養蠶農家ノ安心を得ラレナイノ
デハナイカ、殊ニ現在ノ我が國ノ進歩ガ農
林當局ノ言ハレマス通り既ニ化學ノ研究モ
積ミ、國內ノ纖維ノ補填ニ有效適切ニ蠶絲
ヲ役立テナケレバナラヌト云フ上カラ致シ
マシテ、アナタノ仰シヤルヤウナ風デ、而モ
此ノ「ハイブ」ヲ通ス方法ヲ考究スペキモノ
デハナイカ、斯ウ私ハ思フノデアリマス、
若シ無理ニ輸出ト國內ト分離セラレルト云
フヤウナ場合ガアリトスレバ、養蠶農家ハ夏
秋蠶ノ羊毛ヤ木綿混用、所謂内地特殊繭ノ
買上値段ニ大ナル疑問ヲ持ツ不安ガアルト
思フノデアリマス、更ニ輸出繭ガ高ク賣レ
タラ是カラ補填セラレルノデアリマスケレ
ドモ、安ケレバ其ノ統制會社ノ「プール」ニ
ハ輸出部面カラ剩餘金ガ入ツテ來ナイ、隨
テ御説明ノ生産費ト云フモノカラ繭ノ相場
ヲ御出シニナルコトニナレバ國家ガ補償金
ヲ出スト云フ方法ナケレバ御言葉トハ違
ツテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ思
フノデアリマス、養蠶家ガ生活ノ脅威ヲ感
ジナイヤウニ、茲ニ農林當局ノ御考ヘ方ヲ
尙ホ御答辯ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、
○吉田政府委員　養蠶家ニ對スル關係ニ於
キマシテハ、會社ガ養蠶家カラ買入レル値
段ハ生産費——是ハ色々調査シテ居リマス、
ソレカラ又其ノ他ノ農產物等ト睨ミ合セテ
適正ナル生産費ヲ出シテ、之ヲ保障スルヤ
ウナ意味デ必ズ會社デハ買フ、海外ノ情勢
ガ如何様ニアラウトモ之ニ狼狽スルコトノ
必要ノナイヤウナ狀態ニ置イテ置カウ、其

○渡邊(玉)委員 其ノ御方針ニ付テハ私共大體分ツテ居リマスガ、ソレガ私ハ非常ナ錯覺デナイカト思フノデス、先ツ輸出ハ今後「アメリカ」依存ヲ變ヘテ、新市場ヲ開拓シマシテモ常ニ輸出ノ宣傳ト云フコトヲ怠サウ云フ風ニシテヤツテ行カウト云フノデアリマス

餘りマシタト云フヤウナコトニ成ラヌ事ガ常識的ニ想像シ得ル、斯ウ云フヤウナ結果デアルナラバ、假ニ八千万貫ノ生産計畫ノ中デ、一千五百万貫ト云フ特殊織ヲ作り、後ノ六千五百万貫カラ五十万貫ノ絲ヲ挽ク、サウシマスト其ノ五十五万俵ノ生絲ノ中デ輸出ガ假ニ二十五万俵トスルナラバ、國內デ使フモノガ三十万俵、此ノ特殊織以外ノ三十万俵ノ價格ヲ高クシテ、サウシテ千五百万貫ノ特殊絲ノ値段ヲ背負ツテ行カナレバナラズ、今ノ御答辯ニ依ルト、會社ガ損ヲスルノデナイコトニナツて居ルノデアリマスカラ、三十五万俵ノ國內民需デ千五百万貫ノ特殊織ヲ「カバー」シテ行カナレバナラズ、詰リ相當國內ノ在來生絲ヲ高ク賣ツテ行カナレバナラズ、サウシマスト輸出ノ生絲ヨリハ内地ノ普通ノ在來ノ生絲ハ隨分ト高クナル虞ガアル、高クスルト云フ御考ヘノヤウニ承レル、サウシテ農家ノ生産費ヲ割ラナイノダ、斯ウ云フヤウナ御説明デアリマスケレドモ、結局泣ク子ト地頭ニハ勝テナイト云フヤウナ結果ニナルノデヤナイカ、法文ヲ讀ミマシテモ、「蠶絲ノ需給狀況、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參照シテ之ヲ定ム」トアリマスカラ、唯其ノ前ノ「生産費ヲ基準トシ」ダケナラ結構デアリマスケレドモ、「其ノ他ノ經濟事情ヲ參照」サレマス時ニ、モウ之レ以上ノ値段ヲ算術的ニ出來ナイノダ、斯ウ云フ風ニナツテ來ルノデハナイカ、ソコデ此ノ第七條ノ考ヘ方カラ價格ヲ御定メニナリマシテ、假ニ私ノ言フヤウニ國內民需ノ生絲ガ高クナルトスルナラバ、輸出ノ生絲モ同ジ織デアリマスカラ、其ノ織ヲ作ル時ニ國內民需ノ方ニ流レル虞ガアリ

マス、ソコデサウ云フ風ニ流レナイヤウニ
第四條ノ命令ニ違反シタル者ニハ五千圓ト
云フヤウナ本法デ一番重イ罰金ヲ課シテ、
サウ云フコトノナイヤウニセラレテ居ルト
思ヒマスガ、詰リハ農家ノ負擔ニナルノダ
ト私ハ思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ
ハドウ云フ風ニ價格ノ調整ヲセラレテ行ク
カ、更ニ國內ノ製絲家ハ二割五分カラ休
デ居ル状態デアル、サウシテ更ニ今度ノ本
案ニヨリ統制サレマスレバ一層釜ガ休ミマ
ス、其ノ休ンダ者ニモ從來ノ勵イテ居ツタ
實績デ、共助ノ精神ヲ以テソレヲ助ケテ行
キタイ、斯ウ云フ考ヘガアルナラバ、益々生
絲ノ生產費ハ高クナツテ行ツテ、國內ニ普
遍的ニ此ノ纖維ヲ使ハシムルト云フ考ヘ方
ガ經濟的ニ違ツテ來ルノデアリマス、斯ウ
云フ疑フ深クスルノデアリマスガ、其ノ點
ヲ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

ノ他ノ事情が今日ト變りマシテ、一切ノ勞
賃ガ下ツテ、總テ生活水準ガ下ツテ來タ、
斯ウ言ツタ場合ニ、繭値獨リガ物價ノ高力
ツタ當時ノ生産費ヲ維持スルト云フヤウナ
方策ヲ續ケテ行クト云フコトハ適當デナイ
ト云フ時代ガ起ルカモ知レナイ、サウ言ツ
タ場合ニ檢討致シマシテ、其ノ適正生産費
ガ、ソレデハ不適正ノ生産費ニナツテ居ル
ト云フ状態ニナリマシタ際ニ、ソレヲ是正
スルト云フコトハアリ得マスケレドモ、值
ガ下ツテ來タ、或ハ一時賣レナクナツテ來
タカラ、直グ是デハ採算ガ合ハナイカラ生
産費以下デ繭値ヲ決メヨウト云フコトデ生
産費ヲ決メル考ヘヲ持ツテ居ルノデナイコ
トヲ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ繭ノ方ガ高値ノ絲ノ方ニ流レル
ダラウト云フコトデアリマスガ、ソレハ此
ノ會社デキチツト製造家ニ一定種類ノ製造
生絲ヲ割當テテ生産サセマシテ、ソレニ必
要ナル原料ヲ配給致シマスコトデアリマス
カラ、隨テ繭ノ方ハ完全ニ此ノ會社ニ一手
ニ入りマシテ、會社カラ割當テテ配給スル
コトニナリマスノデ、自由ニ横ニ賣買ヲス
ルコトガナイ以上、御話ノヤウナコトハ私
共ハ考へテ居ラナイノデアリマス、無論ソ
レ損ヲスルヤウナ製絲家デアレバ別デア
リマスガ、是亦製絲家モ、國用ノ絲ヲ挽ク
人モ、輸出絲ヲ挽ク人モ、現實ニ生産費ヲ
「カバーリ」シテ貰ヘルコトデアリマスノデ、
ソレドモ繭ノ生絲ニスレバ飯ヲ食ツテ行ケ
ルコトガ保證サレテ居ル限りニ於テ、繭ヲ
横ニ販賣スルト言ツタコトハ實際問題トシ
テハナイモノト思ヒマス、隨テ片方ニ片寄
ルトカ、流レルトカ轉賣ガ行ハレルト云フ
コトハ起ラナイモノダ、斯様ニ私共ハ見テ

○渡邊(玉)委員 私ハ價格ノ點ニ付キマシ
テハ何ダカ御答辯ガ木ニ縁ツテ魚ヲ求ムル
ヤウナ御答辯ノヤウニ考ヘラレマス、三本
建ニ生絲ヲ分ケル、即ち輸出ト國內民需ト
特殊生絲、斯ウ云フヤウニ分ケマス時ニ繭
ガ一貫目十圓ダ、斯ウ云フ生産費ガ掛ルト假
定シマスト、輸出ダケハ十圓デモ別ニ差支
ナイガ、アトノ繭ハ生産費ガ十圓デアルケ
レドモ特殊繭ノ方ハ安クシナケレバナラス、
併シ生産費ガ十圓ダカラ、十圓マデ負ハシ
テ行カナケレバナラヌトスルト、在來ノ國
内ノ生絲八十圓ノ生産費ヲ割ツテモツト安
クシナケレバ片方ヘハ特殊繭モ十圓デ買ツテ
纖維關係ノ紡績ニ假ニ五圓ニ賣レバ生産費
ハアナタノ仰シヤルヤウナ工合ニ出テ來ナ
イノダ、斯ウ云フヤウニドウシテモ思フノ
デアリマス、又私ノ考ヘ方ガ間違ツテ居レ
バ結構デスケレドモ、コンナ分リ易イコト
ハ間違フ筈ハナイ、其ノ點ニ付テ尙ホ御答
辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

思ヒマスガ、農林當局ハ數量的ニ輸出ハ相手ガ買ヘバ突込ンデ幾ラズモ賣ルト云フ考ヘヲ持ツノカ、或ハ計畫經濟ノ今日トシテハ、國内民需其ノ他輸出物ニ付テハ計畫的ニ御進ミニナルノカ、其ノ點ノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

ナシテハ、餘り數量ヲ餘計出スト云フヤウ
モノナラバ賣ル、斯ウ云フ考へ方ノ方ガ少
クトモ此ノ緊迫シタ情勢ノ下ニ於テ、海外
ニ生絲ヲ出ス場合ノ考へ方トシテハ、其ノ
方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リ
マズ、隨テ輸出ノ方面ノ賣值ト云フモノハ
相當高クナル、此ノ方面ニ向ツテ、高ク賣
レルモノデアルナラバ、此ノ高ク賣レタ生
絲ヲ販賣シタ人カラ一定方法ニ依ル追徵的
取立ヲ此ノ會社ガヤリマシテ、斯ウシテ集
メマシタ金デ、例ノ羊毛代用原料ノ幾ラカ
赤字ニナラザルヲ得ナイ方面ノ損失ヲ「カ
バー」シ、此處デ「バランス」ヲ取ラウ、斯ウ云
フ考へ方ナノデアリマス
輸出ノ方面ノ問題ハ、關聯シテ申上ゲマ
シタヤウニ、考へ方ハ渡邊サント大體同ジ
考ヘヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲマス
○渡邊(玉)委員 御答辯ハ殘念ナガラ私了
解ニ苦ミマスケレドモ、此ノ程度デ止メテ
置キマス

次ハ第十二條ニハ「主務大臣ハ」トアリマス
ガ、是ハ農林大臣ノコトデアリマスカ、ソ
レカラ「纖維製品ノ製造ヲ業トスル者ニ對シ
勅令ノ定ムル所ニ依リ蠶絲ノ生産、配給、
消費、使用、輸出、輸入、移出又ハ移入ノ
統制ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト
アル此ノ條文ニ付テ、質問ヲシタイト存ジ
マス

ソコデ第十二條ノ蠶絲ノ需給云々ト云フ
ヤウニナリマスト、昨日商工當局カラ御答
辯ニナリマシタ絲ヤ織物ノ定義ト云フモノ
カラ云ツテ、ソレガ此ノ條文ニ依ツテドウ
ナツテ行クカ、更ニ織物消費稅ノ關係ニ付
テ農林當局ハ大藏當局ト交渉シテ、何カ善

○吉田政府委員　此ノ十二條ノ問題ハ主務大臣トアリマスガ、決シテ是ハ農林大臣バカリデハナイ、此ノ生絲ノ輸出ト云フ問題ハ、商工省ノ所管ニ入リマシタコトデアルシ、今後ハ殊ニ織維製品ノ製造ヲ事業トスル者ニ對シ云々ト云フヤウナコトモゴザイマシテ、是ハ所管トシテハ商工大臣デアリマスルノデ、十二條ノ主務大臣ハ農林大臣ノ場合モアリマセウシ、商工大臣ノ場合モアルトス様ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマスソレカラ稅金關係、問題デアリマスガ、是ハ私共詳シイコトハ能ク存ジマセヌノデアリマスガ、商工當局トモ昨日來ノ色々ノ御意見御質問ノ御趣旨ニ鑑ミマシテ、十分打合セラ致シマシテ、適當ニ事ヲ決メテ、財務當局トモ稅金其ノ他ノ關係ニ於テ、ハツキリ決メルト云フコトニ付テ打合セヲ致シマシテ、努力ヲスル積リデ居リマス
○渡邊(玉)委員　織維製品製造ヲ業トスル者ニ對シテ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ト云フ點ニ付テノ御考へ方ヲ御答辯願ヒマス○吉田政府委員　是ハ今具體的ニ斯様ナコトヲスルト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌガ、唯豫想致シマスルニ、色々ト維ヲ混紡シテ行ク場合ニ、斯様ナ範圍ノ物トモ、將來必要ニ應ジテハヤラナケレバナラヌ場合モアリハシナイカ、且又色々ナ織維織物其ノ他ノ計畫生産ト云々タヤウナコトモ、將來必要ニ應ジテハヤラナケレバナルヤウニ折衝スルコトガ本當デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデ、御尋ネラスルノデアリマス、御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○渡邊(玉)委員　此ノ蠶絲ノ統制ニ付テ今
マデノ考ヘ方ガ農林商工兩省ノ間ニドウモ
巧ク行カナカツタヤウナコトヲ聞イテ居リ
マスガ、例ヘバ生絲ノ配給ニ致シマシテモ、
織維需給調整協議會デ今ヤツテ居リマスケ
レドモ、消費割當ヲシテモ必要ナ者ニハ割
當ヲ幾ラデモ増シ割當ヲスル、今後サウ云
フ點ノ方針ニ付テ商工當局カラ一ツ御答辯
ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ法文
ノ今ノ命令事項ニ付テモ御答辯ヲ御願ヒ致
シマス

○梶原政府委員　十二條ノ關係ニ付キマシ
テハ、只今蠶絲局長カラ御答ヘガアリマシタ
ヤウニ、當面ノ進行狀況ニ依リマシテ、命
令ヲ出ストカ云フヤウナコトヲ具體的ニ考
ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス、蠶絲業
全體ノ統制ガ整備強化セラレルニ伴ツテ、
適當ニ此ノ條項ヲ活用シテ參ルト云フ用意
ノ爲ニ設ケラレタ條項ト考ヘルノデアリマ
ス、是マデ蠶絲關係ニ付キマシテ、農林
省ト商工省トノ間ニ必ズシモ圓滑ニ行カ
ナカツタカノ御說デアリマスガ、私ハ左
様ニハ考ヘナイノデアリマス、現在生絲
ノ配給ニ付キマシテモ、織維需給調整協議
會其ノ他ニ於テ色々計畫ヲ立て實施シテ
居ルノデアリマスルケレドモ、御承知ノ
ヤウニ生絲關係ニ付キマシテハ、輸出ノ
關係モアリ、其ノ他色々ナ關係ガアリマ
シテ、蠶絲業全體ニ付テノ統制ノ基礎ガ今

回確立セラレルト云フ風ナ事情ニアル譯デアリマスノ、外ノ纖維ニ比ベマシテ、統制ノ進涉ノ度ガ稍、遲カツタト云フコトガ或ハアルカト思フノデアリマズ、サウ云フ關係デ、渡邊サンノ御考ヘノヤウナ節ガ或ハアツタノデハナカラウカト存ジマス、併シナガラ今回斯ウ云フ基本的ノ統制ノ制度ガ確立セラレタノデアリマス、生産部門、配給部門ヲ通ジマシテ、他ノ纖維關係ト關聯ヲシナガラ、統制ガ圓滑ニ十分ニ行ハレ得ルモノト信ズルノデアリマズ、其ノ間兩省ノ間ニ苟モ不圓滑ヲ來スト云フガ如キコトハ萬ナイモノト確信致シテ居ル次第アリマス

○渡邊(五)委員 第十五條ノ絲價安定施設

特別會計ノ今日マデノ活動、今後ノ是ノ本案トノ關係ニ付テ御答辯ヲ伺ヒタイト存ジマス、ソレカラ第十六條ノ第二項ハ、國內生絲ノ検査ニ付テハ何處ノ場所トカ、何箇所トカ云フコトハ、此ノ際承ハラウトハ思ツテ居リマセヌガ、此ノ検査所ハ本會社ガ作ルノデアルカ、又製絲家ガ作ルノデアルカ、或ハ國家ガ検査所ヲ設ケル考ヘデアルカ、又主要ナ生產地ニ設ケルカ、消費地ニ設ケルカ、斯ウ云フ點ニ付テノ考ヘ方ヲ御便利ダト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ考ヘ方デアルカドウカ御尋ネ致シマス

○吉田政府委員 十五條ノ問題デアリマスガ、現在絲價安定施設法ニ於キマシテ、所ノ檢定ハ、大體府縣ニ代行セシムルコトガノ検定ハ、大體私共ノ期待致シ其ノ會計ガ出來テ居ルノデアリマシテ、ソ

レトハ別個ニ、茲ニ十三條、十四條ニ於キマシテ、此ノ會社ガ先づ一應生絲ヲ全部買入レルト云フコトニナリマスガ、此ノ會社ハ餘り長ク荷物ヲ寢サセテ置イタノデハ、仕事ガ敏活ニ行カヌ場合ガアルノデアリマス、ソコデ此ノ會社ヲシテ餘り資金ノ永久ニ固定スルヤウナコトノナイヤウニ考ヘテヤラナケレバナリマセヌノデ、ソンナ關係カラ此ノ會社デ一定數量、餘リ荷物ガ溜ルト云フヤウナ傾向ニアリマシタ際ニハ、絲價安定施設法ニ基キマシテ買入レル場合ノ外ニ、茲ニ書キマシタ値段ニ依ツテ、要スルニ肩替リヲシテヤルト云フ途ヲ此ノ法律ニ依ツテ開イタノデアリマス、其ノ場合ニ絲價安定施設法ヲ特別會計デ此ノ十三條、十四條ノ場合ノ仕事ヲスルノダ、斯ウ云フコトヲ書イタ規定ナノデアリマス

ソレカラ第十六條ノ二項ノ検査所デアリマスガ、検査所ハ何處ニヤラセルノカ、斯ウ云フ問題デアルノデアリマス、大體昨日モ申シマシタヤウニ、生絲ノ検査ハ出來ル限リ横濱、神戸ノ検査所ニ於キマシテ、今日ノ場合其ノ設備ヲ活用シテ検査ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘモ持ツテ居ルノデアリマスガ、國用絲ノ全部ニ付テ検査スルト云フコトハ困難デアリ、又不得策ノ場合モアラウト想像サレマスノデ、適當ノ地域ニ於テ生絲ノ検査ヲ致シマスル施設ヲ作りタ

○渡邊(五)委員 御答辯ニ依ツテ分リマシタ、併シ本會社ガ資金ノ固定ヲシナイヤウニ御圖リニナルコトガ、養蠶家及び製絲家ノ金融ニ非常ナ障碍ニナルノデハナカト云フコトヲ憂慮スル者デアリマス、總て國家ノ統制ニ依ツテ指定セラルト運ビヲナス場合ニ、皆金ガ早ク手ニ入ラナイデ困ツテ居リマス、是ガ仰シヤルヤウナ工合ニ「スマトス」ニ行クトハ考ヘラレナイ、ダカラ此ノ資金ノ固定ヲ御避ケニナルナラバ、其ノ外ニ何カノ方法ガ考ヘラレナケレバイケナイノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ一應當局ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員 此ノ會社ハ蘭ヲ買ツテ製絲家ニ賣ル、絲ヲ買ツテ生絲ノ消費者ニ賣ル、普通現在ノ狀態ニ於キマシテハ、ソレデアリマス、何ダカ買人ガ其ノ検査所ヲ設ケテ、ソレニ基キマシテ、政府ガ一定ノ資金ヲ以テ生絲ヲ買入レテ居ルノデアリマシテ、ソ

ド政府ノ代行機關ミタイナモノデアリマシテ、營利本位デハナイノデアリマス、此ノ會社ガ諸施設ヲ致シマシテ、完全ナ設備ヲ

作ル方ガ宜クハナカト考ヘテ居ルノデアリマス、如何ナル場所ニ何箇所、ドノ程度ノモノヲ作ルカト云フコトニ付キマシテハ、

マダ決定致シテ居リマセヌ

ソレカラ次ニ蘭ノ検定デゴザイマスルガ、是ハ數年前來設備ヲ作リマシテ、各府縣ニ於テソレハ、検定ヲ致シマスル設備ガ完備致シテ居リマス、此ノ検定ヲ利用シテ検定ヲ致シマシテ、其ノ検定ニ依ツテ會社ガ買入レルト云フコトデ進ンデ參リタイト考ヘテ居リマス

○渡邊(五)委員 御答辯ニ依ツテ分リマシタ、併シ本會社ガ資金ノ固定ヲシナイヤウニ御圖リニナルコトガ、養蠶家及び製絲家ノ金融ニ非常ナ障碍ニナルノデハナカト云フコトヲ憂慮スル者デアリマス、總て國家ノ統制ニ依ツテ指定セラルト運ビヲナス場合ニ、皆金ガ早ク手ニ入ラナイデ困ツテ居リマス、是ガ仰シヤルヤウナ工合ニ「スマトス」ニ行クトハ考ヘラレナイ、ダカラ此ノ資金ノ固定ヲ御避ケニナルナラバ、其ノ外ニ何カノ方法ガ考ヘラレナケレバイケナイノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ一應當局ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員 第十七條ノ第一項デ「輸出向生絲製造業者ノ輸出生絲検査ヲ受クベキ數量又ハ品質ニ付期間ヲ定ムルコト」斯ウ云フコトガ命令事項ニ書イテアルノデアリマスガ、之ニ付テナゼ期間ヲ付ケナケレバナラナイカ、其ノ必要ナル理由ヲ御尋ネラシマス

○吉田政府委員 是ハ輸出業者ニ一定數量ノ製造ヲ割當テテ、サウシテ検査ヲ受ケテ輸出サセルト云フコトデアリマスガ、數量ヲ割當テマシテモ、ソレハイツカノ内ニ出ノ製造ヲ割當テテ、サウシテ検査ヲ受ケテ輸出サセルト云フコトデアリマスガ、數量ヲ割當テマシテモ、ソレハイツカノ内ニ出セバ宜シイト云フノデハ困ルノデアリマシテ、一定期間中ニ是ダケノ數量ヲ製造シテ

○渡邊(玉)委員 第十八條ノ第一項ハ蠶絲業ヲ營マントスル者ニ對シ行政官廳ノ許可ヲ受クベシ、其ノ蠶絲業ノ者ハ豫メ玉絲製造及ビ座織業ヲ御指定ニナル御豫定ノヤウデアリマスガ、差當リサウ云フコトデ、其ノ後ニハドウ云フ御考ヘガアルカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○吉田政府委員 是ハ色々最近ニ纖維が不足致シマシテ、玉絲業者モ是ハ從來製絲業法ニ依ツテハ免許ノ營業ニナツテ居ル譯デハナイノデアリマスガ、非常ニ業者ノ方カラ玉絲製造業者ヲ免許ニシテハツキリト業者ヲ決メテ貰ヒタクト云フ要望モアリマシテ、サウ云フヤウナ關係カラ現在他ノ方法ニ依リマシテ免許制度ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ際デアリマスカラ茲ニ明カニ法規上ノ根據ヲ設ケタイ、今後座織等ニ付キマシテモ、同様ナ情勢ガ出マシテ、豫定致シタノデアリマス、差當リハ其ノ二スルト云フヤウナコトニスルコトノ必要ナニハ、製絲業者ハ御承知ノ通リ製絲業法デ免許制度ガ出デ居リマス、蠶種ノ方ハ出デ居リマセヌ、主ナル關係業者トシテハ今日ノ所デハ其ノ程度ヲ豫想サレテ居ルノデアリマス

葉ノ上カラ申シマスレバ、養蠶業デアルノ
デアリマスガ、此ノ十八條ニ依リマシテ養
蠶家ヲ許可制度ニスルト云フコトハチツト
モ考ヘテ居リマセヌコトヲハツキリ申上ゲ
テ置キマス、其ノ後ノ二項ノ問題ハ是ハ如
何ナル場合ト具體的ニ申上ゲルヨリモ、斯
様ナ場合ノ例文デアリマスノデ、如何ナル
場合ト云フコトハ此處デ一寸申上ゲ兼ネル
ノデゴザイマス、申上ゲ兼ネルト云フコト
ハ、申上ゲルノニ一寸頭ニ浮バナイト云フ
コトデ御諒承願ヒタイト思ヒマス、十九條
ノ桑園ノ新設擴張ト云フコトニ對シテハ地
方長官ノ許可ヲ受ケル、此ノ趣旨ハ今度斯
様ナ制度ヲ設ケマシテ、先程來度々申シマ
スヤウニ、適正ナル生産費ヲ基準ト致シマ
シテ、養蠶家ハ蘭ヲ製造致シマスレバ必ず
今後ハ之ヲ買ツテ貰ヘルト云フコトニ相成
リマスト——是ハ見方ニモ依ル譯デアリマ
スガ、從來ハ養蠶家ハ非常ニ絲値ガ高クナ
リマシタ時ニハ蘭モ高ク賣レル場合ガアリ

○渡邊(玉)委員 將來此ノ蠶絲業ト云フ中ニ養蠶家ヲ含ムヤウナ御考ヘハ持ツテ居ナイノデアルカドウカ、此ノ問題デハ第十八條ニ千圓以下ノ罰金ガ付イテ居リマスカラ相當重要チ條項デアルト思ヒマス、「公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキヘ」ト云フ場合ハドウ云フ場合ヲ指スノデアルカ、ソレカラ第十九條ノ桑園許可制度ニアリマスガ、愛知縣地方デハオ蠶ヲ飼フ者以外ノ者デ桑園ヲ澤山持ツテ居ル者ガアルガ、サウ云フ者ニ對シテ將來トンナ措置ヲ講ズルノデアルカ、又屋敷ニ僅カ桑ノ樹ヲ植エテ置ク所ガアルガ、是ハ桑園ト見ルカドウカ、此ノ點ヲ御答辯願ヒマス

ガスガ、必ズ其ノ反動デエライ目ニ遭フノ
ガ今マデノ例デアツタノデアリマス、併シ
養蠶家ノ本當ノ希望トシテハ、一時的ニ高
イ値段ヲ享樂スルヨリモ、生産費ヲ割ラナ
イデズツトソレデ賣レンダト云フ安心ヲ
與ヘテ貴フコトガ、根本的ニ養蠶業安定デア
リ、養蠶業ノ振興ニナル、斯ウ云フノガ今マ
デ吾々聞カサレテ居ル本當ノ聲ノヤウニ思
ツテ居ルノデアリマス、今度ノ制度ニ於キ
マシテハ其ノ趣旨ニ依リマシテ編ミ立テテ
居ル譯ニアリマシテ、是ガ確立致シタ曉ニ
於キマシテハ養蠶家ハ非常ニ安定ヲスルノ
デハナカラウカ、要スルニ作ツタモノハ必
ズ賣レ、而モ生産費ヲ「カバト」シテ貰ツ
テ、決ツタ値デズツト將來賣ルト云フコト
ガ決リマスト、動モスルト桑園ガ殖エル傾
向ニナルノデアリマス、是ハ見方ニ依ルノ
デアリマスガ、ナルノデハアルマイカト思
ヒマス、是ハ第一今日ノ狀態カラ見マシテ
食糧其ノ他ノ増產計畫、食糧ノ生産確保ノ
見地カラ見マシテ、兎ニ角桑園面積ガエラ
ク殖エルト云フヤウナコトデハ餘程其ノ方
面ニ迷惑ヲ掛ケタリ、摩擦ヲ起スヤウナ傾
向ニナリハシナイカト云フコトハ、樂觀ニ
過ギル見方デアルカモ知レマセヌガ、サウ
云フコトモ一つ考へラレマス、又蠶絲ノ政
策ト致シマシテモ、消費ノ非常ニ多イ時デ
アリマスナラバ纖維ノ關係ハ宜ノデアリ
ナイ場合モアリマスノデ、桑園ハ大體現在
マスガ、消費ノ増大ハ圖ルニ致シマシテモ、
急激ニ増加スルト云フ傾向ニナリマシテ
モ、是亦蠶絲ノ立場カラ見マシテモ適當デ
云フヤウナ考ヘデ新設擴張ト云フ場合ニ
ハ許可ヲ受ケサセルト云フ途ヲ開キ得ル、情

○渡邊(玉)委員 大體此ノ法案ニ付テノ御當局ノ所信ヲ知ルヲ得マシタガ、私ハ殘念ナガラ五十三万町歩ノ我ガ國ノ桑園ガ何トカ御考ヘニナラナケレバ、政府ノ仰シヤル六万町歩ヲ減ラシテ、サウシテ農家ノ努力ニ依ツテ生産ヲ縮小シナイト云フ考ヘ方ガ、統制ノ適正ヲ缺ク時ニハ反對ノ結果ガ生ジテ來テ、モツト桑園ハ減ツテ繭ノ生産ガ減ジテ行クヤウナ虞レガアルノデハナイカト云フコトヲ淘ニ深ク憂慮致シマス、併シサウデナカツタナラバ結構ナコトデアリマスガ、五十三万町歩ヲ六万町歩少クシテ、サウシテ全生産能力ヲ發揮シテ五十三町歩ノ桑園ノアル元ノ通りニシテ行キタイト云フノニ、如何ニモ農家ニ對スル不安ガ多過ギル、次ニ斯ウ云フヤウナ大事ナ會社ニ——第二十九條デアリマスガ、「社長及副社長ハドウ云フヤウ人ガ社長ニナルノデアルカ、其ノ點ヲ御聽キシテ置キマス

○吉田政府委員 マダ社長ハドウ云フ人トト云フヤウナコトニ付キマシテハ、私共無論承知致シテ居ル筋合ノモノデモナイノデアリマス、此處デハ御質問ニ對シテハ何トモ申上げ兼ネマスコトヲ御諒承願ヒマス

○渡邊(玉)委員 何時モ斯ウ云フ國策會社ニハ官吏ノ古手ガ入り込ンデ來ル、業界ニ精通シタ者デナケレバイケナイダラウト思フ此ノ會社ニ、其ノ點ニ付テ何カ御考ヘガアルベキ筈デヤナイカ、斯ウ思ツテ御尋ねシタノニアリマスガ、御答辯ガ出來タラ願ヒタイ

ソレカラ第四十二條ノ「日本蠶絲統制株式會社ハ繭及生絲ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲命令ノ定ムル所ニ依リ繭絲價格安定資金ヲ設定スベシ」此ノ書イタル法文ハ分リマス、斯ウ云フヤウニ蠶絲統制會社ニ絲價安定資金ヲ溜メテ置クノダ、サウシテ其ノ金ヲ「ブル」シテ置イテ、生產費ヲ割ラヌヤウニ其ノ金ヲ又要ルベキ場合ニ振リ當テルト云フ考へ方ガ、益々今日ノ現狀カラ一ツノ「バイブル」ヲ通サザル統制ガ農家ノ不安ナ點デアルト私ノ疑ヒガ晴レテ行カナイノデアリマス、此ノ第四十二條ノ考へ方、ドウシテサウ云フ金ヲ御集メナルカ、ドノ位集マルカト云フ點等ヲ詳細ニ御答辯願ヒマス

○吉田政府委員　社長ノ問題ニ付テ重ネテノ御質問デアリマスガ、是ハ先程私ガ申上

ゲタ程度デ一ツ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ四十二條ノ問題デアリマスルガ、

是ハ無論事業ヲ始メナイ前カラドレダケノ積立ガ出來ルカト云ツタヤウナ見透シハ出

來ルコトデハゴザイマセヌガ、出來ルコト

ナラバ相當積立ヲ致シテ置キマシテ——是

ハ主トシテ米國等ト一朝今後如何ナルコト

ガナイトモ限ラナイ、斯様ナ際ニ從來ナラ

バ非常ナ大風、大浪ガ寄セテ來ルコトニナ

ルノデアリマスガ、今後ハ此ノ會社ガ各業

者ノ間ニ入りマシテ、防波堤ノ働キヲナス

ケルコトヲ目的トシテ、一朝事ガアツクナ

ヤウニナルノデアリマシテ、結局其ノ波ナ

リ風ナリヲ直接的ニ受ケルノガ此ノ會社ト

云フコトニナルノデアリマス、又ソレヲ受

ナ仕組ヲ作ツテ置カウト云フ趣旨ガソコニ

アルノデアリマス、サウ云ツタ際ニ一時ハ

非常ニ物モ溜ルト云フコトモ覺悟シナ受

レバナラヌ、サウ云ツタ際ニ於ケル備ヘト

致シマシテ此ノ積立金ヲ作リタイ、斯ウ云

フノガ四十二條ノ趣旨デアリマス

○渡邊(五)委員　結局生絲ト云フ物ハ農家

ノ努力——汗ト脂ガ滲ミ込ンデ居ルト思ヒ

マスガ、我ガ國ノ百六十五万戸ノ養蠶家ガ

セテ來ルモノト思ヒマス、サウ云フ點ニ付

テ茲ニ本法案デ命令ヲ以テ定ムル云々ト云

フコトニナツテ來ルト思ヒマスガ、私ハ其

ノ點ニ疑ヒヲ持ツノデアリマスガ、御當局

ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員　輸出ノ方ノ生絲製造ノ希

望者ガ非常ニ多クテ、ソツチノ方へ行クダ

ラウト云フ意味ノ御質問ダツタト思フノデ

アリマスガ、是ハハツキリ致サナイコトト

思ヒマス、見方ニ依リマスレバ、國用生絲

ノ方ハ作ツタ物ハ一定値デ買ツテ貴ヘル、

輸出生絲ノ方ハ無論制高制低デ相當不安ハ

除去サレルコトト思ヒマスルガ、或ハ相場ガ

其ノ一定範圍ニ於テ動キ、儲カル場合モア

ルガ、損ヲスル場合モアル、斯ウ云ツタヤ

ウナ形ニナリマスルコトカラ、或ハ希望シ

ナイヤウナ人モアリハシナイカト考ヘラレ

マス、是ハ實行シタ上デナケレバ分リマセ

ヌガ、何レニシテモ渡邊サンノヤウナ見方

モ出來マスルノデ、政府デ之ヲ指定スルト

云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之

ヲ指定ヲ致シマスルノニハ、設備、技能其

ノ他從來ノ實績等ヲ能ク調べマシタ上デ適

當ナ範圍ニ指定シテ行キタイ、斯ウ云フ風

ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

シタイト思ヒマス、繭ノ仲買トカ桑ノ仲買

餘リ合理化々々ト云ツタヤウナ一本調子

ナドノ失業者ハ今後ドウスル御方針デアル

カ、ソレカラ茲ニ書イタル物ガアリマス、全

國繭市場組合聯合會ノ希望事項トシテ「一、

二、買收ニ際シテハ從來ノ實績ヲ加味セラ

ルルコト、三、從業員ハ日本蠶絲統制會社ニ

使用セラルルコト、四、買收價格評議委員會

(假稱)ニヘ繭市場代表一二名ヲ加ヘラルコト、附、一、萬一即時買收ニ非ル場合ハ買收年

期ノ場合ハ其ノ間ノ利用方法ヲ左ノ如クセラ

度シ、イ繭市場ハ日本繭絲統制會社直屬

ノ荷捌所トセラルルコト、ロ養蠶業ハ各自產

繭ヲ荷捌所迄搬入スペキコト、ハ荷捌所ハ

前項搬入生繭ノ各人別看賈織絲見本ノ採取

繭代金ノ支拂及徵收生繭若クハ乾繭ノ配給

其ノ他必要ナル處理ヲ爲スノ外養蠶實行組

合ノ希望ニ依リ繭ノ品等別鑑定ヲモ爲スコト、

ト、二市場乾繭設備ノ優先的使用ハ勿論、

荷坂範圍ハ尠クトモ從來ノ實績ヲ下ラザル

様地盤ヲ確保セシメラルルコト、ホ繭ノ配給ハ乾繭ヲ可トスルヲ以テ將來荷捌所ノ乾

繭設備充足ヲ圖ラレ度シ、斯ウ云フヤウナコトヲ私ノ所ニ言ツテ參ツテ居ル陳情ガア

リマス、各方面ニモ行ツテ居ルト思ヒマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ御願ヒシタイノデアリマス

○吉田政府委員　繭仲買人ノ今後ノ失業ニ

對スル心配ニ對シテ如何ナル考ヘヲ持ツテ

居ルカ、斯ウ云フ御質問デアリマス、是ハ

先般來申シテ居ルノデアリマスガ、從來繭

ノ部面ニ付キマシテモ、生絲ノ部面ニ付キ

シテ居ルノデアリマスガ、若シ今後繭ノ配給ヲヤツテ、是等ノモノガ自由ニ賣買サレ

ルト云フヤウナコトニナリマスト、或ハ其

ノ大キナ製絲家ノ方ニ又獨占サレルヤウナ

傾向ニナツテ、座縫ノ弱小製絲家ノ原料ガ

足リナクナルト云フヤウナ關係ニモナリハ

バ、ドウセ集メデ會社デ公平ニ分ケルト云
ノデアリマスガ、サウ云フ弊害ノナイ限りニ
於キマシテハ、此ノ中下繭、玉繭等ニ付テ
ハ、會社ガ一手ニ買ツテ一手ニ配給スルト
云フ、ヤウナコトハ、餘リ潔癖ニヤラヌコト
ニ致シマスレバ、相當是等ノ業者ノ仕事ハ
残ル、何レニシマシテモ、會社デ統制スル
必要ガ今後生ジタト致シマシテモ、此ノ集
荷ノ仕事ハ完全ニ仲買人ノ職場トシテ残ル
譯デアリマス、斯様ナ點モ考ヘマシテ、仲
買人トシテノ失業者ヲ極力防止致シタイ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、繭市場、
其ノ他現在色々關係業者ノ施設等ノ問題ニ付
キマシテハ、出來得ル限り之ヲ活用スルト
云フ考ヘ方デアリマス、ソレド、今日マデ
是等ガ役ニ立ツタ施設デアリ、今後ト雖モ
設備トシテハドウモ必要ナモノト考ヘテ居
リマス、繭市場ノ設備ハ昨日モ植原委員ニ
對シテ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ出来
ルダケ買上げタイ、或ハ貸シテ長ク料金デ
ヤツテ行キタイト云フ人モアリマセウ、サウ云ツタ
方法ニ依ツテ活用シテ參リタイト考ヘテ居
リマス、其ノ他色々アリマシタガ、此ノ統
制ノ場合ニ一手ニ買上げテ一手ニ配給スル
ト云フ場合ノ實行方法ニ付テハ、非常ニ色
色問題モアリマス、是ハ各業者ニ既ニ話ヲシ
テ居リマシテ、役人ノ方デ豫メ方法ヲ決メテ
斯ウスルノダト云フ形デ決メルコトハ適當デ

ナイ場合ガ多イ、實情ヲ知ラナイコトが相當
ルイ業者ノ方デ最モ適當デアリ、又最モ有效
デ「スムース」ニ行クト云フ方法ヲ御研究願
ツテ、サウシテ役所ノ方ト相談シテ決メヨウ
デヤナイカト云フ風ナ考ヘ方デ、色々ナ實
行上ノヤリ方ニ付キマシテハ、養蠶ノ方面、製
絲ノ方面其ノ他實際ノ業者ノ方ニ斯ウ云フ
コトニシタイ、ダカラ之ヲヤルノニハドウ
云フヤウナ實際方法ヲ立テヤツタ方ガ一
番面倒ガナク進ムカ、其ノ方法ヲ一つ研究
シテ貰ツテ、智慧ヲ貸シテ貰ヒタイト云フ
ヤウナコトデ研究願ツテ居ルノデアリマシ
テ、是等ノ問題ハ法案ノ骨子——斯カル制
度ガ確立致シマスレバ續ケマシテ、早ク實
行方法ニ付テノ細末ノ問題ヲ決メテ行キタ
イト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ實
際ニ合フヤウニ致シテ行キタイ、斯ウ云フ
考ヘデ居ルコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒ
マス

ニ思フノデアリマス、今日マデノ本法案ニ
カト云フ點ト、一元統制ニ付テ各部門ニ失
カト云フ論議ノ重點ハ、輸出部門ヲドウスル
風ナ方策ヲ講ズルカト云フ點ト、今一ツ
ノ第三點トシテハ、此ノ計畫ハ生産計畫デ
アルガ、此ノ生産計畫タルヤ國內ノ消費計
畫ニ基礎ヲ置カナケレバナラヌノデアルガ、
國內ノ消費ガ果シテ此ノ生産計畫ヲ完全ニ
受入レラレルヤウニ出來テ居ルカドウカ、
斯ウ云フ三點ニ集中サレタヤウニ考ヘテ居
ルノデアリマス、併シ私ハ此ノ法案ヲ政府
ガ立法サレルニ至リマシタ其ノ理念ト申シ
マスカ、此ノ問題ヲ解決スレバ自ラ是等ノ
問題ハ解決スルノデハナイカト思フノデア
リマス、今マデ色々ノ國策會社ガ濫立ト言
ハレル程ニ出來マシタガ、是ハ國家ガ必要
ト感ジテ、業者ノ意思ニ拘泥セズシテ設立
サレタモノガ多イノデアリマス、其ノ結果
國策會社ガ國民ノ意思ニ反シタル業務ノ執
行ニ依ツテ色々難ヲ受ケテ居ルコトハ、
今日ノ統制經濟ニ轉換セントスル過渡期ト
致シマシテハイムヲ得ナイコトデハアリマ
スルガ、其ノ統制會社、國策會社ノ創立方
其ノ當初ノ目的ヲ完全ニ遂行スルニ困ツテ
居ル點ハコニアルド思フノデアリマス、
併シ今回設立サレマス蠶絲統制會社ハ國策
會社ノ形式ヲ持ツテ居リマスケレドモ、此
ノ會社タルヤ今マデノ國策會社トハ非常ニ
意味ガ違フノデアリマス、ナゼカト申シマ
スト、今日マデノ蠶種製造業者、養蠶業者
製絲業者、此ノ生産部門、工業部門ニ屬シ
ニナツテ居ツタカ、蠶絲ノ業タルヤ隨分古
イ歴史ヲ持ツテ居リマスルガ、是ガ相當ノ

ノコトデアリマスガ、此ノ長間ノ惰性ヲ根本的ニ改正スルト云フノガ此ノ統制會社ノ目的デナケレバナラスト思フノデアリマス、蟬ガ皮ヲ脱グノデアリマスカラ、ソコニ相當ノ苦痛ガアル、其ノ苦痛ヲ受ケナイヤウニ唯樂々ト皮ヲ脱ガウトスル、ソコニ私ハ蠶絲局長ノ御説明ガ不徹底デアリ、或ハ此ノ會社創設ノ目的ニ矛盾スルヤウナ御説明方餘儀ナク出ルノデハナイカト思フノデアリマス、今日マデノ養蠶家ノ状態ハ御承知ノ通リデアリマス、今年ハドレダケノ繭ノ値段ガスルノカ一ツモ分ラナイ、營々ト苦シニテ繭ヲ取上ダマスガ、其ノ繭が幾ラニ賣ラレルカ分ラナイ、値段ノミナラズ、其ノ繭ガ何處ノ製絲ニ買取ラレルカ、ソレサヘ分ラヌ、唯年々一ツノ年中行事トシテ蠶ヲ飼フガ、其ノ繭ノ嫁入先モ分ラナケレバ値打モ分ラズシテ生産シテ參ツタノデアリマスソレデアリマスカラニ依リマスト、一貫目十二、三圓ト云フ豫想外ノ値段フスルコトモアリマス、又時ニ依ツテハ一貫目一圓二、三十錢トハ御承知ノ通リデアリマス、斯ウ云フ状態ニ置カレル養蠶業者、又ソレニ附隨シテ居ル所ノ蠶種製造業者——今日ノ蠶種製造業者ニ産ヲ成シタ者ハ一人モナイト言ツテモ宜シイ、此ノ國家ノ大產業デアル所ノ蠶絲種製造業者ト云フモノヲヤマコ仕事ノ如ク考ヘタノデアリマス、種屋ガ苦心シテ作上ゲタ蠶種ガ翌年養蠶家ノ手ニ渡ツテ繭ニナル、サウスルト既ニ製絲方面カラノ要求ト

品種ノ相違が出来テ、其ノ繭ハ來年ニハ貰
ラナイ、斯ウ云フヤウニ猶ノ目ノ如クニ製
絲ノ消費方面ガ變ル毎ニ蠶種製造業者ガ品
種ノ選擇ニ惱マサレ、サウシテ折角作ツタ
蠶種ガ賣レナイ、遂ニ產ヲ成サヌノミカ、
洵ニ經濟上惠マレナイ狀態ニナツテ來テ居
ルノデアリマス、蠶種製造業者ガ其ノ數ヲ
減ラシタコトヲ御考ヘニナツテモ分ルノデ
アリマス、又最後ノ加工部門デアル製絲業
者ハドウデアリマスカ、七圓八圓ト云フハ
ツキリシタ値段ニ依ツテ繭ヲ買ハサレ、其
ノ繭ヲ四箇月、五箇月先ノ値段ニ依ツテ賣繫
ゲバ助カルノデアリマスガ、其ノ繭ヲ絲ニ
シテ賣ル時分ニハ非常ナ暴落ヲシテ繭代モ
取上ガラレルヤウナ情勢デアリマス、斯様
ナ拘ニ危険ニ曝サレタ三ツノ業者ガ聯關シ
テ苦シミヽヽ數十年ノ間ヲ經過致シマシタ、
其ノ原因ハドコニアルカ、ソレハ輸出部門
ニ於ケル暴騰暴落ノ由テ來サシメタコト
私ハ思フノデアリマス、コンナコトデハ迫
モ吾々ハ行ケナイ、蠶絲業ハ日本ノ外貨獲
得ノ爲ニ營マナケレバナラヌ重要ナル產業
デアル、斯ウ云フ氣持デ、養蠶業者或ハ蠶
種業者、製絲業者ガ如何ニ努力致シマシテ
モ、コンナ危険ナ狀態ニ曝サレ居ルヤウ
ナコトデハ、ドウシテモ此ノ業ヲ繼續スル
コトハ出來ナイ、金ガ儲カラナイカラ蠶飼
ヒヲ止メヨウ、錢ガ儲カツタカラ種屋見タ
イナモノハ止セ、製絲業者見タイモノハ止
メニセイ、斯ウ云フ氣持デ此ノ自由經濟ノ
中ヲ泳イデ來テ居ツタノデアリマス、ソコ
デドウシテモヤラネバナラヌコトハ業界ノ
安定デアリマス、ソレニハドウスルカ、ア
ノ米ガ食糧問題カラ喧シクナツテ四十三圓

ノ値段ガ適正價格アルトハ思ヒマセヌ、アレハ勝手ニ決メタ公定價格デアリマスカラ
適正ナ市價デハアリマセヌケレドモ、兎ニ
角四十三圓ト云フコトデ價格ガ決マレバ、
米作農家ト致シマシテハ、四十三圓ヨリ實
ツテ吳レナイノダカラ、生産「コスト」ヲ
下ゲテ其ノ間ニ出來ルダケ安イ生產費ニ依
ツテ米ヲ作ツテ、此ノ四十三圓ニ應ヘヨウ
ト努力スルノデアリマス、サウ云フ風ニ、
若シ蘭ガ一年ヲ通ジテ少クトモ五十五掛
アルトカ、六十掛デアルトカ、七十掛デア
ルトカ云フコトニハツキリ決ツタナラバ、
其ノ掛目ニ依ツテ今年ノ蘭ハ努力スレバ絲
量ノ多イダケソレダケ此ノ掛けニ依ツテ蘭
代ガ酬ヒラレノデアル、暴落モナケレバ、
暴騰モナイ、此ノ氣持ニ養蠶家ヲ落付ケナ
ケレバナラナイト云フコトヲ養蠶業者團體
ト致シマシテモ考ヘタノデアリマス、蠶種
製造業者トシマシテモ、賣レルダケノ蠶種
ヲ作ツテソレガ完全ニ賣レ、完全ナル作柄
ヲ齎ラス所ノ蠶種デアツタナラバ、今ノ蠶
種製造業者ト云フモノハ安定シ、蠶種代ハ
安クナツテモ自分ノ業態ハ落付イテ來ル、
又製絲業者ニ於キマシテモ、思ハザル所ノ
利益ヲ得ルコトガナクトモ、損ヲシナイ、
一定ノ蘭代ニ依ツテ原料ヲ買ツテ相當ノ加
工利潤ガアルナラバ、工業トシテ成立ツテ
行クノダカラ、暴騰暴落ノ危險ニ曝サレル
コトガナカツタナラバ、製絲業ト云フモノ
ハ落付イテ行クノデアル、此ノ三者ノ考ヘ
方ガ一致致シマシテ、此ノ時局ガドウデア
付キタイト云フ已ムニ已マレス所ノ希望方
ラウガ、サウ云フ問題カラ懸離レテ、昨年
未以來何トカシテ業界ノ安定ヲシタイ、落

各種團體ノ統制決議トナリ、一元化養蠶組織ノ
制ノ希望トナツテ湧起ツテ來タノデアリマ
ス、政府モ之ヲ認メラレタコトト思ヒマス
ルガ、偶々事變ノ進展ニ依ツテ米國ノ敵性ガ
愈々深マラントシテ、來マシタ、此ノ矢先ニ
此ノ當業者ノ已ムニ已マレヌ所ノ希望ヲ酌
入レテ、一元統制會社ノ法案制定ヲ御考ヘ
ニナツタコト私ハ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ去ル二十八日ノ豫算委員會ニ於
テ、農林大臣ノ御説明ニナツテ居ル一端ヲ
考ヘマスト、非常ニ私ノ今マデ考ヘテ居ツ
タ蠶絲統制會社ニ對スル期待ヲ裏切ツタヤ
ウニ思フノデアリマス、ソレハ今後米國ニ
生絲輸出ガ出來ナクナルヤウナ場合ニ立至
ルナラバ、少シモ慌テルコトナクヤツテ行
ケルヤウナ施設ヲ設ケタイ、其ノ意味デ次
ニ提出致シタイト考ヘテ居ルノガ蠶絲業
統制案デアル、是ガ提出ノ曉ハ十分御説明
ヲ申上ゲルガ、其ノ内容ハ我ガ國デ生産出
來ル繭ノ約四割ハ國用絲ニ向ケルコトガ出
來ルト思フ、ソレカラ繭生産ノ約一割見當
モノヲ生産スルニ必要ナ桑園滅反シテ、
食糧増產ノ方ニ向ケル、殘リノ五割ヲ出來
ルコトナラ繭ノ短纖維——繭ヲ絲ニシナイ
デ直ヶ筆ツテシマフト云フ方面ニ專門ニ持
ツテ行クコトモドウカト思ハレル筋ガア
ル、長短兩纖維ノ兼用ノ蠶品種ヲ先ヅ採用
スルコトニシテ、之ニ依ツテ只今逼迫シテ
居ル各種纖維ノ不足ヲ補フコトガ出來ルト
思フ、問題ハ價格ノ點ニアルガ、價格ハ斯
様な國情ノ下ニ於テハ纖維價格ノ適當ナ接
配ニ依ツテ、相當ニ解決スルコトガ出來ル
ト考ヘテ居ル云々ト説明サレテ居ルノデア
リマス、サウシテ終ヒニ、斯様ナ次第デア
ルカラ假ニ時局ガ急變シテ米國ガ生絲ヲ買

ハヌト云フコトニナツテモ、續イテ提出ス
ル蠶絲業統制案ヲ諸君ガ直チニ御協賛下サ
レバ、何モ驚クコトハナイノデアル、斯ウ
说明サレテ居リマス、サウシマスト蠶絲業
統制案ト云フモノハ米國ニ對シテ愈々日本ノ
生絲ヲ買ハナイト云フコトニナツテモ、此
ノ法案ガハツキリ出來、此ノ統制ガ實現ス
レバ、日本トシテハ敢テ差支ヘナイ、斯ウ
云フ氣持テ御出シニナツテ居ルト思ハレル
ノデアリマス、私ハ「アメリカ」ニ對シテ外
貨獲得ノ爲ニ出來ルダケ生絲ヲ賣ラナケレ
バナラヌト思フ、是ハ必要デアリマス、併
シソレガ段々減ツテ今二十五万俵ニナツテ
居リマスガ、之ヲ捨テ置イテ、支那絲ヲ
アノ儘盛ニ宣撫上宣傳シテ行クト、段々
一號カラ二號ニ移ツテシマフ譯デアリマス、
サウシテ此ノ「アメリカ」ニ對シテ何處マデ
モ金ヲ獲得ノ爲ニ絹絲ヲ賣リタイ、斯ウ言ツ
テ行クト、「アメリカ」ノ方ハ何モソンナモ
ノヲ買ハナクテモ、コチラノ方ニ良イモノ
ガアル、斯ウ云フ風ニ横向キヲスル、ソレ
ヲドウカ逃ゲテ吳レルナトオ上手ヲ言ツテ
「アメリカ」ニ絹絲ヲ賣込マントシテ居ルヤ
ウナ氣持モ見エル、サウカト思フト今農林
大臣ノ御考ヘニナツテ居ルヤウニ、「アメリ
カ」ガ買ハヌヤウニナツテモ、此ノ統制サヘ
出來レバ決シテ心配ハナイ、斯ウ言ハレル
ノデアリマス、一步讓ツテ農林大臣ノサウ御
考ヘナサルコトヲ承認致シマシテモ、私等
ノ考ヘタコトハ、一體日本ノ纖維ガドウナ
ツテ居ルカ、日本ト云フヨリハ寧ロ東亞共
榮圈内ニ於ケル纖維ノ狀態ガドウデアルカ
物動計畫ノ上カラ見マシテ、其ノ内容ヲハ
ツキリ御説明ニナリマセヌ、吾々ハ表向キ
知ルコトガ出來マセスケレドモ、相當私ハ

窮屈ニナツテ居ルト思フ、棉花ノ輸入、「パルプ」ノ輸入ト云フヤウナ點カラ見マシテモ、相當ニ私ハ窮屈ナコトニナツテ居ルト思ヒマス、サウ云フ風ナ東亞共榮圈ヲ作ツテ自給自足ニナツテ、サウシテ所謂米國英國ノ依存カラ脱却シテ、獨立自治デ行カウ、此ノ覺悟ヲ決メタ時、マダ未練ガマシク昔ノヤウナ外貨獲得ノ爲ニ「アメリカ」ニオ上手ヲ言フ必要ガドコニアル、私ハ「アメリカ」ガ絹絲ヲ欲シトイ云フナラバ賣ツテヤツテ宜シイ、根性惡ニ何モ才前ハ俺ノ方ニ屑鐵ヤ石油ヲ賣ラヌカラ、ゴチラモ絹絲ハ賣ツテヤラスト云フヤウナ、エラサウナコトヲ言フ必要ハナイト思ヒマス、併シ今マ・デノ政府當局ノ御説明ヲ聽イテ居リマスルト、輸出部門ニ對シテ、「アメリカ」ノ自由市場ニマシタガ、此ノ絹絲ト云フモノハ、「アメリカ」ノ市場ア、社會組織ト云ヒマスカ、經濟組織ノ上ニドウ云フ重要性ヲ持ツテ居ルカト云フト、アレダケ懶慢ナ「ヤンキー」ガ「ナイロン」ヲ造リ上ゲテ絹絲ト競争シテ居リマシテモ、ドウシテモ斯ウシテモ或ル一定量ハ絹絲ガ要ルデハナイイカ、靴下ノ上下ヲ織絲人絹ニ振替ヘテモ、ヤハリ途中ハ絹絲デナケレバ彼等ハ穿カヌノデアル、サウシテ「ナイロン」ガ如何ニ化學纖維トシテ威張リマシテモ、軍用ノ「バラシユート」ニハ出來ナレダカラコチラハ欲シケレバ賣ツテヤルトト云フモノハ或ル一定ノ分量、彼等ガ軍事ヲ擴張スレバスルニ從ツテ必要ガアル、ソト云フ立場ニナツテ宜イト思フ、ソレヲ値段

ヲ決メルト賣レナイトカ、イヤドウトカス
レバ向フガ買ハナイト云フノハ昔ノ話デア
ル、今「イタリア」ハ戰爭ノ中ニ卷込マレテ居
ルカラ、絹絲ガ出來ルノハ支那ト日本ダケ
上ゲヨウ、併シオ前ノ方カラ羊毛モ吳レナ
イ、又英領ノ方カラ棉花モ吳レナイノデア
ルカラ、日本ハ纖維ニ非常ニ缺乏シテ居ル
ノデアル、ソレデ其ノ分ダケコチラハ絹絲
ヲ使フカラ、君ノ方ニ絹絲ヲ賣ツテヤル餘
分ガナイ、併シ今マデ長イ間ノオ得意サン
デアツタカラ、ソンナ薄情ナコトヲ言フノ
ハイカヌカラ、少シハ賣ツテ上ゲヨウ、コ
チラノ餘分ダケモ裾分ケシテヤツテ宜
シイ、此ノ立場デ私ハ「アメリカ」ヘ絹絲ヲ賣
ツテヤレバ宜ノノデハナイカ、斯ウ考ヘテ
居ルノデアリマス、所ガ斯ウ云フ風ニシテ
行キマスルト、政府ノ御考ヘニナツテ居ル
コトニ、幾ツモノ疑問ガ出テ來ルノデアリ
マス、渡邊サンカラモ御質問ガ出テ居リマ
シタガ、八千万貫ニ繭ノ生産見込ヲ立テタ、
斯ウ仰シヤル、一昨年ハ九千三百万貫出來
マシテ、去年ハ八千何百万貫、マア九千萬
貫デアリマスガ、ソレヲ十六年度ハ八千万
貫ニ計畫ヲ立テナケレバナラス、サウシテ
大臣ノ言ハレルニハ、四割ハ内需デ、五割
ハ羊毛代用デ、一割ヲ減ス、斯ウ云フノデ
スガ、ドウモ八千万貫ト云フ基礎ガ一體何
處カラ出テ來タノカ、今マデノ繭ノ生産ニ
ノ原料ガナクナツタ、棉花ノ輸入ガナクナ
ガ出來テ居リマシタガ、是ガ消費部面ニ於

ツタ、羊毛ノ原料ガナクナツタト云フノア
日本ノ工業界ハ慌テ返シテ居ル、此ノ八千
万貫ヲ政府ガ御考ヘニナル場合ニ付テハ、
是ダケハ短纖維トシテ斯ウ云フ紡績ノ方へ
入レテ行ク、サウシテ是ダケハ絹絲トシテ
内地ノ方面ニ必要ガアル、斯ウ云フハツキ
リシタ計畫ガ茲ニ出來ナケレバ、其ノ八千
万貫ノ生産モ立タウ筈ハナイト思フ、唯徒
ラニ八千萬貫ト云フ計畫ヲ持ヘテ、之ヲ目
標ニ、養蠶家ガ今マデ九千万貫作ツタカラ
一割減シテ約八千万貫ニシテ、サウシテソ
レヲヤツテ行カウト云フコトヲ御考ヘニナ
ルコトハ、甚ダ根據ノナイ御考ヘデアル、
今日マデ「アメリカ」ト細々ナガラ貿易ヲヤ
ツテ居リマス、今日先ヅ「二十五万俵ガ「アメ
リカ」ヘ行キ、三十五万俵ガ内需ノ方面ニ使
ハレテ居ルノデアリマスガ、更ニ之ヲドウ
云フ程度マデ殖ヤサレルノデアルカ、假ニ千
二百万人ノ人口ガ一年ニ百匁ノ生絲ヲ要ス
ル一反ノ絹織物ヲ消費スルト假定致シマシ
テモ、四十五万五千俵ト云フモノガ要ル、
即チ四十五万五千俵ト云フモノハ茲ニ新シ
キ需要ガ起ツテ來ルノデアリマス、現在既
ニ三十五万俵乃至四十万俵ハ使ツテ居ル、
三十五万俵ニ負ケテヤツタ所ガ、一人一反
ヅツノ絹織物ヲ使ヘバ忽チソヨニ八十万俵
ト云フヤウナ消費ガ起ツテ來ル、ソレデハ
九千万貫繭ヲ取ツテモマダ足ラヌノデ「ア
メリカ」ニヤル絲ガナクナル「アメリカ」ガ
買ハウト言ウテモ、一寸待ツテ吳レ、俺ノ
方ノ纖維ガ足ラスト云フコトニナル、マダ
此ノ他ニ軍需ノ方モ別ニアリマスガ、サウ
云フヤウナ譯デ、此ノ東亞共榮圈ニ於ケル
纖維ノ現在及ビ將來ヲ考ヘテ見マスト、多
多益、國內デ生産スル纖維ノ原料デアル所ノ

養蠶ト云フモノノ獎勵ハシナケレバナラヌ、
今ノ纖維局長カラハ私ハ承ラヌデスケレド
モ、先ノ纖維局長ニ繭ヲ纖維トスルコトニ
付テノ商工省ノ御意見ハドウデアルカト云
フコトヲ御尋ネシタ時ニ、繭ノ減産ナンカ
考ヘテ吳レテハ困ル、モツト／＼繭ヲ作ツ
テ貰ハナケレバ、此ノ纖維ハ足ラヌノデア
ルト言ハレタ、是ハ吾々當業者ノ立場ト
シテ聽カサレタ御意見デアリマス、然ルニ
茲ニ、桑園ヲ整理シヨウ、サウシテ「ア
メリカ」ガ絲ヲ買ハヌヤウニナルト養蠶業
ト云フモノハ全ク前途悲觀シナケレバナラ
ヌト云フヤウナ空氣ヲ茲ニ釀成致シマシタ
コトハ、私ハ東亞共榮圈ノ纖維ノ問題トシ
テ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、ソレ
デスカラ、政府ハ一體此ノ統制案ヲ作ルノ
ニ「アメリカ」ヘ絹絲ガ賣レヌヤウニナルカモ
知レヌカラ、其ノ準備トシテ此ノ統制會社
ヲ作ルノデアルカ、或ハ將來戰爭ガアラウ
ガアルマイガ、兎モ角斯ウ云フ風ナ養蠶農
業者ヲ投機的ナ立場ニ置イテハイケナイ、
之ヲ落着ケナケレバイケナイト云フ氣持デ
此ノ統制會社ヲ興サレタノデアルカ、之ヲ
ハツキリシテ置カナケレバ、此ノ法案ノ審
議ニ問題ニナツテ居リマス所ノ輸出生絲ノ
問題、或ハ失業者ノ問題、或ハ消費部門ニ
於ケル價格問題ト云フコトニ關聯ヲ來シテ
來ルノデアリマスガ、一體大臣ノ御説明ト
フ御説明ガアツタヤウニ思ヒマスガ、此ノ
云ヒ、サウシテ先般局長カラモ是ハ御話ニ
ナツタト思ヒマスガ、國際情勢ノ變化ニ伴
ウテ斯ウ云フ法案ノ制定が必要デアルト云
ハ我が蠶絲業ノ根本ニ邇ツテ、是ハドウシ

マダ御就任後間モナイコトデアリマスカラ、若シ何デシタラ説明員カラ御説明下サツテモ結構デアリマス、今我ガ國ハ高度國防國家建設ト云フコトヲ標榜致シテ居ルノデアリマス、此ノ高度國防國家ノ建設ト云フコトハ、要スルニ東亞ニ於ケル共榮圈ナルモノヲ作ツテ、其ノ間に於テ自給自足ノ生活ヲ致シテ行カウト云フコトヲ理念トシテ考ヘラレルト思フノデアリマス、今日東亞ト申シマシテモ、マダ生活程度ノ低イ消費經濟ノ餘リ振ハナイ、地方モ澤山アリマス、殊ニ四億ノ民族ヲ持ツテ居リマスル支那大陸ノ現状カラ見マシテモ、此ノ高貴品トシテ取扱ハレテ居ル絹絲ノ消費方面ニ付テハマダ十分徹底シテ居ラナイト思フノデアリマス、併シ何レノ民族ニ致シマシテモ纖維ナクシテ生活ハ出來ナインデアリマス、其ノ纖維ト申シマスレバ、綿絲、羊毛、絹絲、其ノ他化學的ノ纖維モ含マレテアルノデアリマスガ、此ノ東亞ノ自主圈内ニ於ケル織維ノ狀況ハ、遺憾ナガラ今日マデ此ノデアルノデリマス、羊毛ニ致シマシテモ、綿花ニ致シマシテモ、此ノ圈内ニ於テ十二分ニ生産シ得ラレルトハ考ヘラレヌノデアリマス、支那大陸ニ相當ノ棉花ガ生産サレマスケレドモ、其ノ棉花タルヤ色々な事情ニ束縛サレテ居リマシテ、支那大陸民ノ全部ノ消費ニ充ツルニハ勿論、棉花ガ生産サレマス、斯ウ云フ自主圈、共榮圈ヲ作ツテ以テ進マントシマス場合ニ於テ、今マデ顧ミラレナカツタ所ノ天然絹絲ト云フモノガ非常ナル役割ヲ今後スルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ意味カラ我ガ東亞ノ共榮圈ニ於ケル所ノ纖維ノ狀態ヲ左様ニ感ジマ

シタ時ニ、絹絲ト云フモノハ如何ナル立場ニ居ルカト云フコトヲ探索シナケレバナラスノデアリマスガ、第一我ガ國ニ於ケル事變以來ノ纖維ノ窮屈ナルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、表面化サレテ居リマセヌケレドモ、一層窮屈サラ年々加へ來ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ場合ニ今回ノ法案制定ノ目的ガ、先程私ガ質問致シマシタ蠶絲業界各段階ノ安定デアルト云フ氣持ト、サウシテ此ノ時局ニ遭遇致シマシテ兩相俟ツテ業界ノ安定ト東亞共榮圈内ノ纖維ノ需給ト云フコトヲ充シ得ル機會ガ茲ニ現ハレテ來タノデアリマス、此ノ機會ニ於ケル我ガ日本ノ纖維ノ狀況ハドウナツテ居リマスカ、此ノ諸纖維ニ對シテ絹絲ト云フモノガドレダケノ負擔ヲ背負ハサレテ居ルカ、少し抽象的ノヤウニ聞エマスルガ、羊毛が入ツテ來ナイ棉花ガ入ツテ來ナイ、「斯フ」人絹ノ原料ハ色々ノ事情ニ依ツテ今マデ通リデナイ、此ノ情勢ニ於ケル我ガ國ノ纖維業界ニ於テ、絹絲ガドノ程度マデニ考ヘラレテ居ルカ、期待サレテ居ルカ、此ノ點ヲ商工當局カラ承リタイノデアリマス

○権原政府委員 東亞共榮圈ノ資源ニ對スル御考ヘ、吾々モ全然同感デアリマス、ドウシテモ日本ハ勿論、東亞共榮圈ニ於キマスル纖維資源ニ付テ自給自足ノ方針デ進マシテハ中支北支ニ於キマスル綿花ノ増産計画、滿洲ニ於キマスル各種纖維作物ノ増産等、ソレゞ計畫ガ立テラレテ進行シテイ譯デアリマス、然ル所現實ノ問題ト致シマシテハ中支北支ニ於キマスル綿花ノ増産等、ソレゞ計畫ガ立テラレテ進行シテマス、斯ウ云フ自主圈、共榮圈ヲ作ツテ以テ進マントシマス場合ニ於テ、今マデ顧ミラレナカツタ所ノ天然絹絲ト云フモノガ非常ナル役割ヲ今後スルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ意味カラ我ガ東亞ノ共榮圈ニ於ケル所ノ纖維ノ狀態ヲ左様ニ感ジマ

シタ時ニ、絹絲ト云フモノハ如何ナル立場ニ居ルカト云フコトヲ探索シナケレバナラスノデアリマスガ、第一我ガ國ニ於ケル事變以來ノ纖維ノ窮屈ナルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、表面化サレテ居リマセヌケレドモ、生産ノ方ニ於テモ、「コスト」少ニ伴ツテ、相當強イ纖維資源ノ不足ノ状況デアリマス、隨テ相當長キニ亘ツテ絹織ナラナカツタ各種ノ纖維、之ヲ出來ル限り利用シテ參ルト云フコトガ先づ第一ノ方法ダト考ヘマス、即チ「バルブ」ノ材料ト致シマシテモ、木材以外ノ各種ノ纖維作物ヲ「バルブ」化シテ參ルト云フコトガ現ニ研究サレ、實現ヲ見ツツアルノデアリマス、ソレト同時ニ合成纖維ト申シマスルカ、純然タル化學製品トシテノ合成纖維ノ研究ト云フコトモ、是亦我ガ國ト致シマシテハ、忽セニ出来ナイ問題ト存ジマス、現ニ此ノ方面ノ研究ヲ進メテ居ル譯デアリマス、之ニ關係シテ日本自體ニ付ツテ居リマスル最モ重要な繊維資源デアリマスル絹ニ付テ、纖維資源全體ノ關係カラ考ヘマシテ、吾々ト致シマシテモ極メテ之ヲ重要ニ考ヘ、重要ニ取扱フ必要ガアルト存ジテ居ルノデアリマス、唯從來ノ絹ニ對スル考ヘ方ナリ、絹ヲ使ヒマスル方法ナリ、製品等ニ付テ現在ノ纖維全體ノ關係カラ相當變ツタト申シマスカ、從來ト違ツタ觀點デ之ヲ取扱ツテ行ク必要ガアラウト存ジテ居ルノデアリマス、即チ出来ルダケ大眾的ニ之ヲ利用シ得ルヤウニシテ居リマスモ、然ル所現實ノ問題ト致シタ問題デハナインデアリマスカラ、商工省デモ相當御研究ニナツテ居ルコトト思ヒテ居ル約三十六万俵以外ノ新シキ用途ニ振向ケラレル譯デアリマス、此ノ問題ハ今起約六割ト云フモノガ國內消費ニ充テラレテ居ルノデアリマス、若シ「アメリカ」ヘ少シモ輸出ガ出來ナイト云フコトニナレバ、ソレダケノモノハ新用途トシテ現在使用サレ居リマスモノハ御研究ニナツテ居ルコトト思ヒテ居ル約三十六万俵以外ノ新シキ用途ニ振向ケラレル譯デアリマス、此ノ問題ハ今起キタ問題デハナインデアリマスカラ、商工省デモ相當御研究ニナツテ居ルコトト思ヒカ、其ノ點ヲ承リタイ

○権原政府委員 昨年ヨリモ本年ニ於キマシテ、今回ノ蠶絲統制ノ新シイ制度ニ即用途ニ振向ケル分、及び新シイ用途トシテ

開拓シテ參リマス分等ヲ合セテ、勿論昨年
以上ニ消費ガ増加ヲスル企畫ノ下ニ、検討
ヲ進メテ居ル次第デアリマス、相當ノ分量
ガ昨年以上ニ消化シ得ルモノト考ヘテ居リ
マス、唯ドノ程度ノ數量ヲ、具體的ニドノ
方面ニ廻ハスカ、之ニ付キマンテハ色々ノ
想定ノ下ニ色々ノ案ヲ具體的ニ研究ハシテ
居ルノデアリマスケレドモ、何レ此ノ法制
ノ施行ニ伴ヒマシテ、委員會ガ設ケラレル
豫定デアリマスカラ、過敏蠶絲局長モ言ハ
レマシタ通り、其ノ委員會ニ於テ篤ト審議
檢討致サレルコトニナラウト思フノデアリ
マス、吾々ト致シマシテハ色々ノ場合ヲ前
提ト致シマシテ、檢討ハ進メテ居ルノデア
リマス、唯御話ノ如ク「アメリカ」トノ關係ノ
萬ガ一ノ時ヲ想定致シマスナラバ、恐ラク
其ノ場合ニ於キマシテモ、ソレニ應ジタ一ツ
ノ方策が必要ニナリハシナイカト存ズルノ
デアリマス、隨ヒマシテ今商工省トシテ檢
討ヲ進メテ居リマス程度ニ於キマシテハ、普
通ノ進ミ方ト致シマシテノ前提ノ下ニ、出
來ル限り價格ノ點ニ於テモ、一般ノ消費ニ差
支ナイト云フコトヲ前提ニシテ、檢討ヲ進
メテ居ルノデアリマス、ソレデモ相當ノ量
ヲ消化シ得ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマ
ス

居ルノデアリマスガ、本年農林省ニ於テ計畫致シテ居リマスル食糧増産確保ノ施設ト致シマシテ、桑園ヲ其ノ方面ニ相當向ケルコトニナリマス、蠶絲當局ノ考へ方ト致シマシテハ、爾餘ノ面積デ出來ルダケ多クノ繭ヲ生産シテ、纖維ノ補給ニ努メル積リデアリマスガ、何ト申シマシテモ多少面積ガ斯様ナ形ニ於テ、他ノ方ニ轉向スルト云フコトニナリマスレバ、將來ニ於テハ兎モ角トシテ、差當リノ問題トシテハ多少ノ影響ガアルアルノハ已ムヲ得ナイト存ジマス、斯様ナ狀況ヲ考ヘ合セマシテ、極力爾餘ノ面積デ繭ヲ取ルト云フコトヲ考ヘテ見マシタ際ニ於テハ、先づ此ノ邊ノ所ノ生産見込ハ、中ラズト雖モ遠カラザル數量デハナカラウカ、斯フ云フ風ニ考ヘマシテノ八千万貫ト云フ數字デアルノデアリマス

恐ラク私ハ食糧政策カラ言ツテ中々難力シ
イコトダグト思フ、桑園ト云フモノハ申スマ
デモナク七年カ十年經テバ更新シナケレバ
ナラヌ、如何ニ立派ナ桑園デアリマシテモ、
七年、八年、九年トナルト荒廢シテ參ツテ
來ルノデアリマス、如何ニ肥培管理ガ徹底
致シマシテモ、今日ノ桑苗木ノ生産狀況カ
ラ見マスト、老衰期ニ入りマシテ、ドウデ
モ斯ウデモ植エ替ヘナケレバナラヌ更新期
ニ入ツタモノガ、所謂荒廢桑園ト考ヘラ
テ、之ヲ掘起シテ他ノ作物ニ使フト云フコ
トハ、一年、二年ハマア他ニ良イ桑園ガア
ルカラ、桑ノ生産力ヲ維持スルコトガ出來
ヤウト思ヒマスガ、次ノ更新期ガ來タ場合
ニ、更新スル年度ガ繰上ツテ來ナケレバナ
ラ又コトニナツテ來マスカラ、此ノ桑園ノ
一割減反ト云フコトハ、蠶絲業政策ノ上カ
ラ言ツテ、非常ニ惡イヤリ方デアルト思ヒ
マス、殊ニ一割減反ト云フコトガ蠶絲業者
ノ心理狀態ニ及ボス影響ハ、非常ナモノガア
ラウト思ヒマス、過去ニ於テ掘リ抜キセ
ヨ、抜キ取りセヨ、或ハ換地セヨ、或ハ轉
作セヨト云フヤウナ、色々ノ獎勵政策ヲ行
ツタコトモアルノデアリマスガ、其ノ當時
養蠶農家ノ蠶絲業ニ對スル考ヘ方ニ、非常
ニ不安動搖ヲ興ヘタコトハ事實デアリマス、
斯ウ云フ風ナ點カラ見マシテモ、桑園ヲ減
反スルト云フコトハ宜シクナイノミナラズ
桑園ヲ減反シテ一割減ラスガ、殘リノ桑園
ノ能率ヲ高メテ、サウシテ八千万貫乃至九
千万貫ノ生産額ヲ確保シヨウ、斯ウ考ヘル
ノデアリマスルガ、政府ハサウ云フ計畫ヲ
御立ニナルノハ宜イデアリマセウガ、サ
ウ云フコトヲスルニハ現在桑園一反歩カラ
十五貫或ハ十七貫カノ繭生産額ニナツテ居

リマス、ソレヲ一割上ゲテ十七貫ニ或ハ
九貫ニ、一反歩ノ收穫量ヲ殖ヤシテ行カナ
ケレバナラヌ、其ノ用意ガ政府ニアルカナ
イカ、食糧生産以外ノ肥料配給ハ六割五分
デアリマス、サウシテ畜業ニ依ツテ單肥ノ
増産、或ハ追肥ノ増産ト云フコトガ桑園栽
培上最モ必要デアリマスルガ、畜業ハ御承
知ノ通り飼料關係カラ年一年其ノ數ヲ低下
シテ行キマス、其ノ他ノ有機質肥料ニ於キ
マシテモ勿論無機質肥料ニ於キマシテモ
食糧生産ニ第一ニ配給セラレルノハ勿論デ
アリマスガ、此ノ食糧生産ノ犠牲ニナツテ
其ノ犠牲ヲ取返スダケ桑園ニ對スル肥料ヲ
十分ニ政府トシテ配給スルノ覺悟ガアルカ、
其ノ準備ナクシテ殘ツタ桑園ニ於テ一割減
少ノ補ヒヲサセテ行カウト云フコトハ、是
ハ洵ニ無理ナ考ヘ方デアル、恐ラク養蠶農
家ノ失望狀態、サウシテ桑園ノ維持管理ガ
出來ナイト云フ結果カラ、或ハ八千万貫ト
云フモノガ豫想通り行カナイノデハナイカ
ト云フコトモ心配サレルノデアリマス、此
ノ原料ガ若シ計畫通リニ生産サレザル場合
ニ於テ其ノ及ボスコトハ、今マデノヤウニ
輸出ノ絲ノ値ガ高クナツテ輸出商ガ儲ケ
ル、或ハ製絲加工者ガ思ハヌ儲ケヲシタト
云フコトニ止マラナイ、今繭ノ生産ガ輸出
ト云フコトヲ脱却シテ、サウシテ國內ノ纖
維ノ一環ヲ背負ツテ立ツテ居ル、又立タサ
ナケレバナラナイノデアリマスカラ、此ノ
豫定計畫ガ來レバ忽チニ纖維ノ部門ニ不都
合ヲ來タスコトニナルノデアリマス、サウ
云フ風ナ點カラ考ヘテ八千万貫ト云フヤウナ
メテ九千万貫ナラ九千万貫ト云フヤウナコ

Digitized by srujanika@gmail.com

トニ將來考ヘテ行カナケレバナラスト思フ
ノデアリマスルガ、餘リガツチリ計數ヲ出
シテ、サウシテ八千万貫ト云フコトヲ基礎
トスルコトハ危險ノヤウニ思フノデアリマ
スガ、政府ハドウ御考ヘニナツテ居リマス
力
○吉田政府委員 養蠶ニ對スル考へ方ニ付
キマシテハ私、森サンノ仰セト全ク同ジ氣持
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、食糧ノ增産ト
云フ緊迫シタ必要ノ前ニ桑園モ或程度轉向
サセルコトハ、是ハ全ク今日ノ事態已ムヲ
得ナイ結果トシテ起キテ來タ問題デアリマ
スガ、蠶絲ト致シマシテハ只今御話ノヤウ
ニ、今後不足勝チノ國內ノ纖維ノ充足ニ當
テル爲ニ極力増産ラ考ヘナケレバナラヌ關
係ニアリマスノデ、爾餘ノ面積デ極力増産
ニ努メルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ
デアリマス、ソレニ付キマシテ肥料ガ十分
デナイ、是モ洵ニ困ツタ狀態デアリマスガ、
是亦所謂食糧方面ト云フコトニ付キマシテ
ハ更ニ重點ヲ置イテ考ヘナケレバナラヌコ
トカラ、洵ニ遺憾ノ狀態ニナツテ居ルト申
サザルヲ得ナイノデアリマス斯様ナ點カラ
極力爾餘ノ面積デ増産致スト致シマシテ、
ドレダケ採レルカト云フヤウナ見透シヲ付
ケマシタノガ八千万貫、一昨年ハ現在五
三万町歩ノ面積デ九千三百万貫ト云フモノ
ガ採レマシタ、是ハ中國等ニ旱魃ガアリマ
シテ、多少恩ハシクナイ部面モアツタノデ
アリマスガ、殆ド全面的ニ非常ナ養蠶家ノ
影響ヲ受ケル、肥料ハ足リナイガ、色々工
夫ヲ致シマシテ自給肥料ナドニ極力專念シ

ヒ方ニ付テモ餘程無駄ノナイヤウニ使ツテ行ク、斯ウ云フヤウナコトニ付テ非常ナ熱意、熱心ヲ以テヤリマスレバ、八千万貫ト云フコトハ無論收穫出來ルノデハナカラウカ、無論ソレ以上收穫ガ出來ルコトヲ願ツテ居ル譯デアリマシテ、唯此ノ數字八千万貫ト抑ヘテ是以上採レルコトヲ好マナイノダノ、或ハ困ルト云ツタ考ヘ方デ抑ヘテ居ルノデハナイノデアリマス、要スルニ養蠶ノ方ハ極力増産ニ努力スルコトニ依ツテドノ程度出來ルデアラウト云フ見透シヲ付ケマシテ、ソレヲ基礎トシテ其ノ爾餘ノ生絲ニ幾ラ、繭纖維ニ幾ラ、輸出ニ幾ラト云ツタ之ヲ基礎ニ致シマス、一ツノ見透シニ致シテ居ル譯デアリマス、必ズシモ八千万貫ト云フコトガ、ソレヨリ殖エテハ困ル或ハ減ツテハ困ルト云ツタ關係ニナツチ居ラナイコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

是ハ皆ソレゞ、一ツノ考へ方デヤツテ居ル
ノデアリマシテ、今後斯様ナ問題ニ付キマ
シテ正式ニ確定サレマスニハ、此ノ制度ガ
出来マシテ蠶絲委員會ガ出来マシテ、ソレ
ニ政府カラ諮詢致シマシテソコデ御決定ニ
ナリマシタモノガ正式ニ決ルコトニナルモ
ノト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、今製絲
聯合アタリデ一應ノ考へ方ヲ致シテ居リマ
スモノハ、ソレハ全ク業者ノ私的ナ考へ方
デアルト考ヘテ居リマス

○森(幸)委員 蠶絲委員會ニ依ツテ用途別
數量其ノ他決定サレルコトハ法文ニ明カデ
アリマス、今申上ゲタコトガ御説明ニナリ
マシタ通り實業團體ノ假定ノ目標デアルト
云フコトヲ御承認願ツタ譯デアリマス、然
ルニ此ノ製絲聯合會、組合製絲聯合會ニ於
キマシテハ、此ノ時局ニ處スペク三割六分
ノ減釜ヲ決議セント致シテ居ルノデアリマ
ス、不日中央會ノ問題ト致シマシテ、サウ
シテ其ノ決議實行ノ統制命令ヲ本省ノ指揮
ニ仰ガント致シテ居ルノデアリマス、即チ
假定ノ數字ニ依ツテ自分等ノ産業ノ生産ノ
基礎ヲ改革セント致シテ居ルノデアリマス、
此ノ假定ガ蠶絲委員會ニ於テ此ノ儘承認サ
レルナラバ宜イト私ハ思ヒマス、「アヌリカ」
トノ關係ガ變ツテ來ル、或ハ國內ノ新用途
ノ繭ノ需給ガ今日考へテ居リマスルヨリモ
更ニ短纖維トシテ供給サレルヤウナ場合ガ
アルカモ知レス、或ハ又現在考へテ居ル短
纖維ノ數量ガ今日マデ機業界ニ容レラレス
ヤウナ情勢ニアルカモ知レマセス、ソレハ
蠶絲委員會ノ決定ニ依ツテ決定スル譯デア
リマスルガ、サウ云フ情勢ニアル現在、此
ノ假定ノ下ニ自分ノ生産力ヲ縮小シヨウト
云フ決議ヲ致シタ場合ニ、政府ハソレニ統

○吉田政府委員 製絲ノ設備ノ問題ト製絲ノ織物ヲ消化致シマスル可能量ノ問題トハ極メテ裕リノアルモノデゴザイマス、現在ノ状態デ一釜一年ニ三俵半程度挽クト云フノモアリマスルシ、五俵七俵挽クト云フノモアリマス、是ハ色々設備ノ善惡ニモ關係致シマスルガ、現狀ニ於キマシテハ、地方ニモ依リマスルガ、非常ニ休ミガ多クアル所モアツテ見タリ、或ハ餘リ「デリケート」デナイヤウナ絲ヲゾンザイニ挽イテモ宜シイト云フヤウナ考へ方デ挽クヤウナ場合、色ナ關係カラ致シマシテ織ノ消化力ト云フモノハ一釜四俵ト云フヤウニキチツト決マツテ居ルモノデハナイノデアリマス、隨ヒマシテ例ヘバ製絲聯合デ絲ニ致シマスル原料トシテハ是ダケアル、ソレカラ大體計算シテ見ルト此ノ位ノ釜デヤレバ宜シイト云ツタヤウナ計算ヲ何レハシテ居ルグラウト思フノデアリマスケレドモ、之ニハ一體三百六十五日ノ中ニ何日動クヤウナ計算ニツテ居ルノデアリマスルカ、又絲ヲ多ク造ル必要ガアリマスル場合ニ於テハ、ソレハ絶對ニソレ以上ノ日數ヲ繰絲出來ナイト引誦ヌテアルモノカドウカ、斯様ナ點ヲ色々考ヘテ見マスルト、必ズシモ此ノ釜數ヲ何釜減シタラバ何千万貫以上ノ織ハ一寸モ消化ノ出來ナイモノダト云ツタ程ニ窮屈ナモガ新情勢ニ對應シマシテソレゝ經營ノ合理化ヲ考ヘテ行クト云フ其ノ考へ方自體討致シマシテ、私共ト致シマシテハ、業者ノデハナイノデ、可ナリ使ヒ方ニ依リマシテ裕リガアルノデアリマス、無論決議ヲ致シマシタ場合ニ能ク其ノ由ツテ來ル所ヲ検討致シマシテ、私共ト致シマシテハ、業者ノデハナイノデ、可ナリ使ヒ方ニ依リマシテ裕リガアルノデアリマス、無論決議ヲ致シマシタ場合ニ能ク其ノ由ツテ來ル所ヲ検討致シマシテ、私共ト致シマシテハ、業者

ニハ、尤モノ所ガアラウト考ヘテ居リマスルガ、實施ノ具體的ノヤリ方ニ付キマシテハ、今申シマシタヤウナ色々ナ方面カラ十分研究致シマシテ、之ヲ是認スルトカ、或是認スルト云フヤウナコトヲ決メテ行キタ伊ト考ヘテ居ルノデアリマス、設備ノ問題ハキチツト機械デ作ルヤウナ關係デナク、設備ト繩ノ消化力ミ付キマシテハ色々ナヤリ方ニ依リマシテ、多クモ使ヘルシ少クモ使ヘルト云フヤウナ裕リノアルモノデアルコトヲ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス○森(幸)委員 其ノ釜敷整理ニ付キマシテ、色々ノ補償金ヲ出スコトニナツテ居ルヤウデ居リマス、聞ク所ニ依リマスト、營業製絲ノ今釀出シナケレバナラナイ金ガ約七百九十万圓、組合製絲ノ整理ニ要スル經費ガ百二十三万圓ト豫想サレテ居ルヤウデアリマス、ソレノ外ニマダ先ニ整理シナケレバナラナイ借金モアル譯デアリマスカラサウ云フモノヲ合シマシテ一俵當リ六圓三十錢ト云フモノヲ將來製絲ノ負擔トシテ認メテ行カウト云フヤウナコトガ計畫豫定サレテ居ルヤウデアリマス、此ノ六圓三十錢ト云フモノハ、何處ノ負擔ニナツテ行クノカ、過去ノ震災燒絲ノ負擔ガ一俵七圓ト云フモノ、ガ製絲原料費、所謂加工費ノ中ニ加算サセラレマシテ結局養蠶家ノ繩代ニ加ハツテ來テ、養蠶家ガ之ヲ負擔シテ今日マデ來テ居ルノデアリマスガ、先日來ノ御説明ニ依リマスト、今回繩ノ値段ヲ決メルノニハ養蠶家ノ生産費ヲ基礎トル、サウシテ經濟事情、諸物價ノ上リ下リヲ斟酌致シテ決メルノダ、ソレデアルカラ輸出絲ノ上リ下リ、又國內需要生

絲ノ價格ト云フモノハ全然繭代トシテ繭ノ
値段ニハ影響ヲ及ボサナインダト云フコト
シテ相當ノ加工利潤ヲ認メテ、ソコデ内需
用ノ絲ノ中心價格ガ決マル譯デアリマガ、
其ノ品等査定ニ依ツテ中心ヨリ下ルモノハ
安イシ、良イ物ハ高イノハ勿論デアリマス、
サウ云フコトニシマスト當然製絲業ノ生産
スル生絲、養蠶家ノ生産スル繭ノ價格ト云
フモノハ全ク茲ニ安定ヲスル譯デアリマス、
併シ今御尋ネシマシタヤウナ釜數整理ニ於
ケル負擔ト云フモノガ何處ニ轉嫁サレルト
モ分ラ生イノデアリマス、又昨日モ渡邊君
カラノ御質問ノ中ニモアツタヤウニ伺ツタ
ヤウナ譯デアリマスガ、妙ナコトニナリハ
シナイカ、ソレハ養蠶家ニハ今生産費ヲ段
段キチント決メテ、安心サセテ之ヲ落着ケ
ル、又製絲家ニハ繭代ヲ基礎トシテ、ソレ
ニ加工費ニ相當ノ利潤ヲ認メテ生絲代ヲ決
メテ行ク、生産部門ハソレデ落著イタ譯デ
アリマス、所ガ今度ハ之ヲ織物原料トシテ
持ツテ行カナケレバナラヌ、織物原料トシ
テ持ツテ行ツタ時ニ、ソンナ高イ絲ニシテ
吳レテハコチラノ方ハ原料トシテ貰へヌ、
其處ニ食ヒ違ヒガ出來ヤシナイカ、是ハ吾
吾苦キ經驗ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ト
云フコトハ今副蠶絲統制株式會社ニ統制サ
レテ居リマスガ、繭ノ毛羽デアリマス、繭
綿ガ當時闇取引ガ無論アリマシテ、三十圓
乃至三十五圓デ取引ガ出來テ居ツタ、是ガ
統制會社ヲ拵ヘルカラ價格ヲ公定スルト云
フコトヲ農林省デアツタカ商工省デアツタ
カ、吾々ヲ御集メニナツテ意見ヲ徵サレタ

ノデアリマス、所ガ現在是ガ三十三圓、三十五圓デ賣レテ居ル、此ノ賣レテ居ル物ヲデアル、此ノ市場相場ヲ根據トシテ之ヲ公定シテ、是ハ上ゲサセヌ、是ハ下ゲサセヌトフ云コトニ持ツテ行クノガ、最モ事實ニ即シタヤリ方デアルト吾々ハ主張シタ、所ガ商工省ハ纖維ト云フ立場カラ考ヘルト、吾々ガ三十三圓ト云フモノヲ十八圓デナケレバナラナイト理論サレル、ナゼ十八圓デアルノカト言ヘバ、繭綿ヲ加工シテ更生絲ヲ造ツタ、其ノ更生絲ノ價格カラ打算シテ行ケベ、繭綿ト云フモノハ十八圓カツカツシカナイ、斯ウ云フコトデ議論ガ對立致シマシテ、容易ニ是ガ纏マラナクテ、結果局二十三圓ト云フトテツモナイ、吾々ノ豫想シナイヤウナ價格ニ定メラレタノデアリマス、今此ノ統制會社ガ考ヘラレテ居ル繭代カラ絲代ヲ決メテ行クト云フコトカラ見ルト、吾々ノ方ニハ少シモ無理ガナイ生産費ヲ見テ——百姓ダツテ食ツテ行クノデアリマスカラ相當ノ利潤ヲ見テ居ル、今マデノ繭ノ生產費ハ各府縣別ニ農林省や蠶絲業組合等ノ色々ノ方面デ調查シテ居リマスカラ、大體十目ノ利潤ヲ見テ居ル、今マデリマス、ソレヲ基礎トシテ之ニ幾ラカノ利潤ヲ認ヌテ繭ノ値段ヲ決メレバ、製絲原料ノ價格ガ決マル、サウスルト製絲工業部門ニ於テ之ニ相當ノ利潤、工費ヲ見テ行ケバ是ヨリハ割引ノ出來ナイト云フ絲ノ價格ガトガ出來ナイ、所謂先程申シマシタ繭綿ナラ三十五圓ト云フ此ノ價格ヲ持チ續ケテ、

織物業界、機業界ニ於テ果シテヤツテ吳レト云フ時ニ
依ツテ原料ヲ消化シテ吳レルカドウカ、斯
ウ云フ私ハ心配ガアルノデアリマス、殊ニ
モノガ今度ハ消費者ノ方ニ掛ツテ來ル譯デ
アリマス、サウスルト國用向ノ絲ハ之ニ決
メタケレドモ、ドウモ織物界ガソレデヤ原
料トシテ使ヘナイ、ダカラモツト安クシロ
ト言フト、段々ソレガ終ヒニ繭代ニモ及バ
ナイト云フ建前デアリマシテモ、結局ハ絲
ニナルノガ繭ノ目的デアリマス、織物ニナ
ルノガ絲ノ目的デアリマス、其ノ目的ノ織
物ニナラナイ、高イ原料ヲ抑ヘラレバ、
隨テ繭ノ原價ヲ安クシテ來ナケレバナラヌ
ト云フコトニ歸納シテ來ルト思フノデアリ
マス、此ノ點ヲドウ御考ヘニナツテ居リマ
スカ

有機的ナ結ビ付キノアル「レベル」マデ上ツ
テ居ル、内地ノ機屋ノ方モ先ヅ大體ソレニ依
ツテ漸次落付イテ、仕事ヲ致シテ居ルト云
フノガ現状デアリマス、ソコデ今ココデ急
ニ機屋ガ現在買ツテ居ル絲ニ付テ、エラク
下ゲルト云フコトニ致シマスト、消費者ノ
側カラ申シマスト原料ノ値ガ下レバ宜イヤ
ウナモノデアリマスケレドモ、必ズシモサ
ウ云フ譯デナク、手持チノ原料ノ値下リニ
ナルヤウナコトニナリ、或ハ製品ノ値マデ
混亂スルヤウナコトニナリマスト、機屋モ
困ル關係ニナリマス、斯様ナ關係カラ致シ
マシテ、國用生絲ノ「レベル」ト云フモノモ、
長イ將來トシテハ低物價ト云フコトデ考ヘ
ナケレバナラヌコトハ別問題ト致シマシテ
モ、差當リ此ノ實施ニ當リマシテハ、現在
ノ價格ノ「レベル」ヲ變動サセナイト云フ考
ヘ方デ行カナケレバナラナイト思フノデア
リマス、是ハ見込ノ問題デアリマスガ、下
カラ積上ゲテ、今森サンノ仰シヤツタヤウ
ナ形ニナツテ行キマス生産費ト云フモノハ、
果シテソレト餘程違フカドウカト云フ問題
デアリマシテ、是ハ計算シタ後ナケレバ
何トモ申サレナイノデアリマスガ、私ハ現
在ノ事情ニ於キマシテハ、今申サレルヤウ
ナ現在ノ「レベル」デ之ヲ始末スルノニモ、
餘程生産費ノ方カラ更ニ再検討ヲ加ヘナケ
レバ、嵌込ムコトガ出來ナイト云ツタヤウ
ナ狀態ニハナラヌデ濟ムノデハナイカト思
フノデアリマス、併シナガラソレガ餘程食
違ヒガアリマシテ、生産費カラ計算シテ參
リマシタモノデ處分ヲスルノニハ、現在ノ
相場ヲ更ニ一段上ゲテ機屋ノ方ニ迷惑ヲ掛
ケナケレバナラヌヤウナコトデアリマスレ
バ、ソレハ餘程考へナケレバナラヌト思ヒ

マス、是方僅カノ點デ事濟ムコトデアリマスナラバ、物價ノ方面モ十分考慮致シマシテ——何様蠶絲ノ方ハ生産費ヲ割レバ、要スルニ生産ガ出來ナイト云フ意味ノ限度デアリマスカラ、ココノ點ヲ能ク物價ノ方面トモ協議致シマシテ、諒解ヲ願ツテ、價格ノ修正ヲスル必要ガアルナラバ修正ヲスル、賣值ヲ多少上ゲサヘスレバ生産費ノ「カーバー」ガ出來ルト云フ關係デアリマスレバ、其ノ方面トモ協議致シマシテ適當ニ處シテ參リタイ、斯様ナ心組デ居ルノデアリマスリ森(幸)委員 絹絲ガ今割込マントシテ居リマス相手ハ「スフ」人絹、綿絲デアリマス、相手ガ惡イ、相手ガ惡イト云フコトハ値段ガ安イノデアリマス、其ノ安いモノト今マデ高級品トシテ取扱ハレテ居ル絹絲ト置換ヘヨウト云フノデアリマスカラ、織物消費階級ニ對シテハ價格ヲ上ゲナケレバナラヌ、詰リ「スフ」ニ一割ノ絹絲混紡ヲスレバ、價格ガ二倍ニナル、二倍ニナルケレドモ、耐久力ガ四倍ニナル、物ニ依ツテハサウ云フ風ナ試験モ出テ居ルヤウデアリマスガ、耐久力ガ四倍ニナルケレドモ、價格ガ倍ニナルノダ、斯ウ云フ苦シイ絹絲ノ性格ヲ持ツテ居ルコトヲ、私ハ認識シテ掛ラナケレバイケナイト思ヒマス、併シモウ一つハ如何ニ安い「スフ」ニシマシテモ、人絹ニシマシテモ、綿絲ニシマシテモ、其ノ根源タルヤ金貨ガ掛ツテ居ル品物デアリマス、併シ絹絲ハ純國產デ、一ハ、淘ニ利用價值ノ高いモノデアルト思フノデアリマス、所ガ所謂絹織物ハ相當破格ノ價格ヲ以テ市場ニ現ハレテ居ル、是ハ絹絲ト縦シ幾ラカ高クテモ所謂國家經濟ノ上カラシテ一言釋明シナケレバナラヌ立場ニアル

コトヲ私ハ情ナク思フノデアリマスガ、丸
帶一本一万圓スルトカ、或ハ安クナツテモ
五六千圓シテ居ル、或ハ此ノ頃デモ三百圓、
五百圓ノ丸帶ガ陳列サレテ居リマスガ、丸
帶ト云フヤウナ特殊ナモノニ依ラズ、寧ロ
着尺物デモサウデアリマスガ、着尺物デ一
反八十圓、九十圓、百圓ノモノガマダ出テ
居リマス、併シ其ノ百圓ノ着尺ノ原料タル
織物加工ト云フ工業部門ノ化學階段ヲ潛ル
コトニ依ツテ絹織物ハ高イト云フ風ニ所謂
十圓カ十二圓ノ價格デアリマス、十圓カ十
二圓ノ原料價格デアルモノガ色々々染色、
絹絲ガ何ボ掛ツテ居ルカト云フト、ソレハ
絹絲ヲ蒙ツテ居ルト思フノデアリマス、私
ハ絹織物ノ或ル程度ノ價值ハ經濟上ノ價值
トシテ認メナケレバナラスト思フノデアリ
マスガ、一般大衆ハ「スフ」綿絲ノ安イ織物ニ
長イ間馴化サレテ居ルノデアリマスカラ、
ドウシテモ出來ルグケ安イ絹絲ヲ織物界ニ
送ラナケレバ十分ニ綿絲、羊毛、「スフ」ニ乘
替ルコトガ難カシトイ思フ、テ是ハ何トシテモ
乗替ラナケレバ、安イモノデアツテモ棉花
羊毛、「スフ」ハモウナクナツテ來ルノデアリ
マスカラ、ドウデモ斯ウデモ自給自足ノ立場
カラ絹絲ヲ持ツテ行カナケレバナラヌノデ
アリマス、ソレデスカラ價格ヲ協定サレル
上ニ於キマシテモ、十分織物業界ノ事情ニ
即シタ價格ヲ以テ貴ハナケレバナラヌコト
ハ勿論デアリマスガ、生産部門ニ於ケル養
蠶家、製絲家ト云フモノハ相當ノ利潤ヲ認
メナイマデニ之ヲ切詰メテ行クコトハ吾々
トシテ認メルコトガ出來ナイ、サウシナイ
ト足リナイン繭ガ又減ツテ來ルト云フコトニ
ナル譯デアリマスカラ、此ノ實施ニ當ツテ
ハ十分ナル御用意ト研究ヲ煩ハサナケレバ

ナラナイ、殊ニ是ハ商工省ニ所屬スル部門トシマシテ十分ナル研究ヲ加ヘテ、サウシテ繭絲ノ信用ノ少シデモ廣クセラレントヲ切望シテ已マナイノデアリマス、昨日渡邊君カラ申サレタノモ此ノ點デアリマス、繭ハ決マツタ、絲ハ決マツタ、サウシテ其ノ決マツタ絲デ織物ガ承知スルカシナイカ茲ニ一ツノ不安ガアルノデアリマス、此ノ法案制定ハ當業者ノ今日マデ苦シソコトヲ落付ケルト云フ意味ニアルト云フコトヲ政府當局カラ承ツタノデアリマス、而シテ百年ノ長イ間自由取引ノ下積ミトナツテ養蠶家、製絲家其ノ他之ニ關係シテ居る業者ハ非常ナル苦シミヲ受ケテ來タノデアリマス、又政府モ斯ウ云フヤウナコトヲサセテ置イテハイケナイ、農村ノ爲ニ養蠶業ヲ落付ケサセナケレバイカスト云フ立場カラ、斯ウ云フ法案ヲ御考ヘニナツテ、サウシテ今偶々此ノ時局ニ「アメリカ」ノ敵性行爲ニ對シテ準備ヲ整ヘヨウト云フ一石二鳥ノ政策トシテ御考ヘニナツタコトハ沟ニ結構ナコトト思フガ、サウ云フ法案デアレバ、茲ニ百年ノ間ノ古着ヲ脱グノデアリマスカラ、現狀ノ儘之ヲヤル譯ニハ行カナイ、此ノ古着ヲ脱グコトニ依ツテ此ノ法案ノ目的が達成スルノデアリマス、併シ人情ノ深イ現蠶絲當局ト致シマシテハ、ドウカシテ失業者ヲ出サヌヤウニ、此ノ業者モ可愛ガリタインサウ俄カニハ行ケナイノダカラ、此ノ業者ナ御親切ノ意味カラ、先日來ノ御答辯ヲ承ツテ居リマスルト、理想ハサウダ、併シ今サウ俄カニハ行ケナイノダカラ、此ノ業者モ生カシテ行ク、此ノ業者モ泣クカラ救ツテヤラウ、斯ウ云フヤウニ私ニハ窺ハレル、サウ云フヤウナ人情味ヲ以テヤツテ下サル

コトハ結構デアリマスガ、サウ云フ氣持デ此ノ古着ガ脱ゲルダラウカ脱ゲヌダラウカト云フコトヲ私ハ心配スル、ソレデスカラ一元統制會社トシテ仕事ヲヤツテ行クニヘ、ドウシテモ事實出來ナイ點ガアルノデアリマス、例ヘハ玉繭ノ價格決定、ソレカラビシヨ繭、二等繭、中繭ノ價格ト云フモノハ檢定所ニ持ツテ行ツテモ分リマセヌ、絲量ハ分リマスケレドモ、價格ト云フモノハ中出セルモノデハナ、斯ウ云フモノハ從來長イ經驗ノアル當業者ガ、是ハ此ノ位ノ價值ガアルト云フ風ニシテ、商賣人ノ方ガ上手ニ値ヲ決メル、サウ云フヤウナモノハドウシテモ一元化シヨウトシテモ出來ルモノデハナイ、ヤハリソレバサウ云フ専門的ナ業者ニ引續イテ活動シテ貰ハナケレバ泣ク者ガアル、ソレハサウ云フ失業者ヲ出來ルダケ出サナイヤウニシテ行ツテ貰ハナケレバナラナイガ、ソレガ爲ニ折角日本門ニモ泣ク者ガアル、コチラノ部門ニモ泣ク者ガアル、ソレハサウ云フ失業者ヲ出來ルダケ出サナイヤウニシテ行ツテ貰ハナケレバナラナイガ、ソレガ爲ニ折角日本ノ此ノ重大ナル蠶業ノ革命的ナ政策ガ根本的ト云ハナクテモ一部的カラデモ碎ケテ來テハ私ハ大變ダト思フ

ソレカラ最後ノ問題ト致シマシテ、是ハ御答辯ヲ受ケテモ結局同ジコトダラウト

思ヒマスガ、輸出問題デアリマス、是ハ私カラ申上ゲルマデモナク御承知ノコトハト思ヒマスガ、昨日モ御説明ガアツク通リ、日本ダケデハイケナイ、支那ヲ睨ンデ行カナケレバナラス、私ハ昨日ハ承ルコトガ出来ナカツタノデアリマスガ、宇佐美政府委員モ恐ラク祕密會デモナケレバ思切ツタコトハヨウ仰シヤレナイト思マス、例ヘハ玉繭ノ價格決定、ソレカラビシヨ繭、二等繭、中繭ノ價格ト云フモノハ中出セルモノデハナ、斯ウ云フモノハ從來長イ經驗ノアル當業者ガ、是ハ此ノ位ノ價值ガアルト云フ風ニシテ、商賣人ノ方ガ上手ニ値ヲ決メル、サウ云フヤウナモノハドウシテモ一元化シヨウトシテモ出來ルモノデハナイ、ヤハリソレバサウ云フ専門的ナ業者ニ引續イテ活動シテ貰ハナケレバ泣ク者ガアル、ソレハサウ云フ失業者ヲ出來ルダケ出サナイヤウニシテ行ツテ貰ハナケレバナラナイガ、ソレガ爲ニ折角日本ノ此ノ重大ナル蠶業ノ革命的ナ政策ガ根本的ト云ハナクテモ一部的カラデモ碎ケテ來テハ私ハ大變ダト思フ

ソレカラ最後ノ問題ト致シマシテ、是ハ御答辯ヲ受ケテモ結局同ジコトダラウト思ヒマスガ、昨日モ御説明ガアツク通リ、日本ダケデハイケナイ、支那ヲ睨ンデ行カナケレバナラス、私ハ昨日ハ承ルコトガ出来ナカツタノデアリマスガ、宇佐美政府委員モ恐ラク祕密會デモナケレバ思切ツタコトハヨウ仰シヤレナイト思マス、例ヘハ玉繭ノ價格決定、ソレカラビシヨ繭、二等繭、中繭ノ價格ト云フモノハ中出セルモノデハナ、斯ウ云フモノハ從來長イ經驗ノアル當業者ガ、是ハ此ノ位ノ價值ガアルト云フ風ニシテ、商賣人ノ方ガ上手ニ値ヲ決メル、サウ云フヤウナモノハドウシテモ一元化シヨウトシテモ出來ルモノデハナイ、ヤハリソレバサウ云フ専門的ナ業者ニ引續イテ活動シテ貰ハナケレバ泣ク者ガアル、ソレハサウ云フ失業者ヲ出來ルダケ出サナイヤウニシテ行ツテ貰ハナケレバナラナイガ、ソレガ爲ニ折角日本ノ此ノ重大ナル蠶業ノ革命的ナ政策ガ根本的ト云ハナクテモ一部的カラデモ碎ケテ來テハ私ハ大變ダト思フ

ソレカラ最後ノ問題ト致シマシテ、是ハ御答辯ヲ受ケテモ結局同ジコトダラウト思ヒマスガ、昨日モ御説明ガアツク通リ、日本ダケデハイケナイ、支那ヲ睨ンデ行カナケレバナラス、私ハ昨日ハ承ルコトガ出来ナカツタノデアリマスガ、宇佐美政府委員モ恐ラク祕密會デモナケレバ思切ツタコトハヨウ仰シヤレナイト思マスガ、是ハ餘程考ヘナケレバナラス、ヒマスガ、是ハ餘程考ヘナケレバナラス、

輸出生絲ヲ今マデノヤウニ自由奔放ニサセ

テ居ル、又サウスルコトガ宜イト仰シヤル

ノデアリマスガ、之ニ對シテ吾々ハ今日マ

デ苦シニ來タ、所ガ輸出生絲ノ價格ハ決

シテ繭代、國內生絲代ニハ關係サセナイ、

斯ウ云フコトヲ仰シヤルノデアリマスガ、

吾々ハ關係スル、關係セヌト云フヨリモ、

寧ロ「アメリカ」ニ對シテサウ云フコトガ我

ガ日本トシテ宜イカ惡イカト云フ問題デア

リマス、此ノ間カラ度々此ノ問題ニ付テハ

局長トシテノ御意見モ承ツタノデアリマス

ガ、「アメリカ」ノ自由市場ト、日本ノ統制

經濟トスウ云フ木ニ竹ヲ接グヤウナコトハ、

其ノ接ギ目ニ困ル、ヤハリ向フハ自由市場

ヲ残シテ置イタ方ガ宜イノダト云フコトヲ

或ル方面カラ結論トシテ承ツタノデアリマ

スガ、是ハ吾々ハドウシテモ承認出來ナイ、

「アメリカ」ハ先程申シタヤウニ、或ル一定

量ノ絹絲ハ何デモ彼デモ欲シイ、ヤラヌト

言ツタラ、支那ノ手ヲ潛ツテモ買ヒマス、

或ハ「ロシヤ」ノ手ヲ潛ツテモ日本ノ生絲ヲ

買フ、買ハナケレバ生活出來ナイ部門ガア

ル、賣リタクテ仕方ガナノイデナク、向フ

ハ買ヒタクテ仕方ガナノイデアル、ソンナ

買ヒタクテ買ヒタクテ仕方ノナイ部門ガア

ルモノニ對シテ、オ氣ニ入ルヤウニ御自由ニ儲ケテ下サイナンテ、ソンナコトヲヤル

必要ハナイ、而モイマ日本ハ纖維ニ飢渴シ

テ居ル、君ノ方ハ長イ間ノオ得意ガカラ特ニ是ダケ分ケテヤラウ、是ハ大切ナ絲デ内地ニ使ヒタイガ、仕方ガナイカラオ前ニ分

ケテヤラウト云フノデ、二十万俵ナリ二十五

万俵ナリラク確保シテ、之ヲ一千六百圓ナラ千六

百圓ト云フ或ル一定ノ價格デ、是デ氣ニ入

ツタラ買ヘ、厭ヤナラ買ツテ貰ハヌデモ宜

イト云フ態度ニ出レバ、向フハ必ズ其ノ價格デ下サイト言ツテ來ル、今マデノヤウニ

「アメリカ」ニ依存スル氣持ヲ止メナケレバ

ナラヌト思フ、片方ニ新シキモノガ出來テ

此ノ古イモノヲ捨テナケレバコツチヘ行ケ

ナイノニ、コツチニモオ上手ヲシ、アツチニモオ上手ヲスルト云フコトデ今日行ケル

モノデハナイ、東亞共榮圈ヲ作ツテ高度國

防國家ヲヤツテ行ケバ、綿モ羊毛モ要ラヌ、

屑鐵モ石油モ要ラヌ、今マデハオ前ノ方カ

ラ貴ツテ居タカラコツチカラモヤツタガ、

オ前ノ方ガヤラヌト云フナラ貴ハヌデモ宜

イ、併シ金貨獲得ガ大事ナ仕事デアルカラ、

戰爭ノナイ限りハ出來ルダケ賣リタイ、又

ソレハ賣ル方法ガアリマス、假令「アメリ

カ」ト戰爭シテモ幾ラデモ「アメリカ」ニ目

本ノ絲ハ賣レマス、「アメリカ」人ハ國家觀

念ヨリモ營利觀念ノ強イ國民デアルカラ、

戰爭ハ戰爭トシテ置イテ、船ガ廻ハラナケ

レバ世界中一周リシテデモ必要ナ生絲ダケ

ハ買ヒマス、是ガ向フノ性質デアル、サウ

云フ毅然タル立場ニ立ツテ、棉花ナド貰ハ

ナクテモ宜イ「ス・フ」原料ハ貴ハナクテモ宜

イ、俺ノ方ハ斯ウ云フ資源ヲ持ツテ居ルカラ、之ニ依ツテ自活ヲシテ行ケルンダ、欲

シイモノナラ二十萬カ一十五萬デモ是レ

是レノ價格デ賣ツテヤツテモ宜イ、拂下が

テヤルト言ツテモ宜イ、ソレニハ支那ト云

フモノガ輕ク見ラレテ居ル、コソナコトハ

ソレデ行カウタツテ承知シナイ、吾々養蠶

家ニハ輸出生絲ノ騰落ガ影響スル、國內需

要ノ絹絲ノ生產、製絲家ニ輸出絲ノ騰落ガ

影響スルト云フ、ソンナ小サイサモシイ考

ヘデナシニ、日支提携ノ上ニ於テドウシテ

モ此ノ絹絲ト云フモノハ兩國共同ノ上ニ統

制ヲツケテ行カナケレバナラヌ、ソレニハ

デ打壊ハサレテシマツタ、サウシテ今度ハ事變

ガ始マツテカラハ宣撫工作デ又蠶絲業ヲ日本

ノ手ニ依ツテヲ復活サシテヤツタ、サウシテ

去年ハ御承知ノ通リ七万俵ヲ輸出シテ居ル、所謂重慶

イケレドモ、或ル工作ガ軍部ノ方デ講ゼラ

ニ按配良ク嵌ツテ居ル譯デス、ソレデハ大

變ダト云フノデ、此處デハ餘リ多ク言ヘナ

シテカトモ相當日支協調シテ、支那ノ絲ニ對

ケニハ言ヘナイケレドモ、ソコハ日支經濟

レテ居ル、ソレデアリマスルカラ日本ガサ

ウ云フ毅然タル態度ヲ執ルナラバ、支那ナ

シタカ、ソレハ或ル一方デ日本ノ財閥ガ邪

魔ヲシテ居ル、ソレハ御承知ダト思ヒマ

スガ、上海ノ支那ノ生絲統制ヲ誰ガ邪魔ヲ

ヲ圓滿ニ行カセル上カラ手ヲ握ツテ行ク、

ソレニハ日本ノ生絲ヲ自由ニ業者ニ任シテ

置イテハ困ル、蠶絲當局モ御承知ダト思ヒマ

スガ、上海ノ支那ノ生絲統制ヲ誰ガ邪魔ヲ

ヲ圓滿ニ行カセル上カラ手ヲ握ツテ行ク、

ソレニハ日本ノ生絲ヲ自由ニ業者ニ任シテ

斯ウ云フ會社ヲシテ一元的統制ニ持ツテ行クト云フコトガ——ソレハ氣ノ毒ナ部面モ出來マセウケレドモ、國策ノ上カラ考ヘ、蠶絲業ノ將來ヲ眺メタ場合ニ於テ、私ハサウ云フ風ニシテ行カナケレバナラスト思フ、ソレガ東亞共榮圈ヲ作ル上ニ於テ御互ヒニハ考ヘルノデアリマス、併シ此ノ答辯トシテハ現在ノ政府當局ノ立場トシマシテハ、ヤハリ四本建デ行ク方ガ宜イ、又「アメリカ」ノ商人ノ御機嫌ヲ取ル方ガ宜イト云フ、斯ウ云フ風ナ軟弱外交アリマスカ、媚態貿易デアリマスカ、サウ云フ御説明御答辯ガアラウト思ヒマスルカラ御答辯ハ要シマセヌガ、唯委員諸君ノ十分ナル御研究ヲ煩ハシテ吾々ハ吾々トシテ善處スルヨリ外ナイト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ措キマシテ、是デ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス。

○高橋委員長 鈴木正吾君
○鈴木(正)委員 委員諸君ト政府當局トノ連日ノ努力ニ依リ本法ノ意圖スル蠶絲國策ノ大綱ヘ略、諒解スルコトガ出来マシタ本法ノ如キ蠶絲業界全般ニ瓦ル劃期的法律ガ關係各業界ニ深刻ナル影響ヲ及ボスコトハ勿論デアリマスガ、同ジク影響ト云ト存ジマス、即チ全國蠶種ノ製造販賣業者ト市場關係業者及ビ繭絲業者等ハ本法ノ成行如何ヲ端的ニ各自ノ死活問題ト觀ジ、憂

慮ノ餘リ全國各府縣ヨリ馳セ參ジタル各業界ノ代表者數十名ヘ、早朝ヨリ夕刻マデ連日本院ノ面會所ニ集合シテ一喜一憂、本法案審議ノ經過ヲ見守リツツアル實情デアリマス、幸ヒニモ當局ノ御答辯ニ依リ政府ハ極力失業者ヲ出サナイヤウ留意セラレテ居ルコト、萬一失業者ヲ生ジタ場合ニ於テハ成ベク之ヲ統制會社ノ職員トシテ吸收シ、生計ノ途ヲ與ヘラルコトヲ知リ、聊カ愁眉ヲ開イタ者モアリマスガ、尙ホ大多數ハ不安焦燥ノ裡ニヨリ好キ安心ノ糧ヲ得タイト翹望致シテ居リマス、ソコデ私ハ是等業者ノ不安ヲ掃スルトハ云ヘナイマデモ、少シモ無用ノ取越苦勞ヲ除イテヤラウト云フ當局ノ親心ヲ引出ス意味ニ於テ、一切ノ議論ハ抜キニ致シマシテ、簡單ニ三四ノ點ヲ御尋ネ致シマス、何卒當局ニ於カレテモ業者ノ苦痛ヲ諒後日ノ紛淆ヲ避ケラレルノミナラズ、業者ニ對スル眞ノ親切デモアリマス。

先づ第一ニ本法成立後ニ於ケル蠶種業者並ニ販賣人ノ地位如何ト云フ問題デアリマスガ、其ノ中製造業者ノ方ハ略、從來ノ實績ニ依リ、統制會社カラ蠶絲業者ニ蠶種ヲ註文スルトノ御言明ニ依リ、一應不安ト案ハ考ヘテ居ルノデアリマス、配給ニ當リマシテ會社ガ製造業者カラ買取ル、併シ事實ハ買取ツタ相手方ハ會社デアリマスガ、物ハ製造業者カラ配給スペキ養蠶家ノ方ニ流スルコトニナルノデアリマス、其ノハ一掃セラレタ譯デスガ、販賣業者ハドウナリマセウカ、蠶種販賣業者ト云フモノガ舊來通リ稼業シ得ルノカ、若シ統制會社ノ職員トシテ採用シ、蠶種販賣ノ實務ニ當ラシムル御方針ダトスレバ、其ノ際當該業者ガ是マデ多大ノ努力ニ依リ獲得保持シテ來タ所謂御得意ト云フ財產ハ如何ニ計量サレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマシテハ、特殊ノ地方ノ問題デモアリ

ス

マスルシ、制度全體ト云フ問題デハゴザイ

○吉田政府委員 蠶種ノ製造會社ハ今度ノ制度ニ依リマシテ、先程來申シマスルヤウニ生活ガ非常ニ安定ニナルモノト思ヒマス、幸ヒニモ當局ノ御答辯ニ依リ政府ハ極力失業者ヲ出サナイヤウ留意セラレテ居ルコト、

マセヌガ、農林當局ト致シマシテ、今後之ヲ運用致シマス上ニ於テ、府縣當局、又府縣ノ從來關係致シマシタ蠶種ノ業者、斯ウニ生活ガ非常ニ安定ニナルモノト思ヒマス、幸ヒニモ當局ノ御答辯ニ依リ政府ハ極力失業者ヲ出サナイヤウ留意セラレテ居ルコト、

萬一失業者ヲ生ジタ場合ニ於テハ成ベク之ヲ統制會社ノ職員トシテ吸收シ、生計ノ途ヲ與ヘラルコトヲ知リ、聊カ愁眉ヲ開イタ者モアリマスガ、尙ホ大多數ハ不安焦燥ノ裡ニヨリ好キ安心ノ糧ヲ得タイト翹望致シテ居リマス、ソコデ私ハ是等業者ノ不安ヲ

來養蠶方面ニ販賣ヲ致シテ居リマシタ蠶種ノ中間業者ト云フモノガアルノデアリマス、幸ヒニモ當局ノ御答辯ニ依リ政府ハ極力失業者ヲ出サナイヤウ留意セラレテ居ルコト、

是ハ日本全國ト云フ狀態デハアリマセヌガ主トシテ關東方面ニ相當沿革ノアル一つノ業者トシテ存在致シテ居ルノデアリマス、是ガ若シ蠶種ノ製造業者ニ對シマシテ會社

云フモノトノ間ニ於テ今ノ配給ノ問題ニ付テ參畫ガ出來、隨テ手數料ト申シマスルカ、サウ云フヤウナモノニ依ツテ——從來ヨリハ無論或ル程度窮屈ナ點ガアルト云フコトハ覺悟シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、ウナコトノナイヤウニ方策ヲ立テタイト云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○鈴木(正)委員 御親切ナ答辯ヲ感謝致シナルト、其ノ間ノ從來ノ仕事ガ奪ハレルト云フ形ニナルノデアリマス、今御話ノ通り心配致シテ居ルコト承知致シテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ私共前々カラ直接ニ懇ヘラレテ居ル問題デアリマシテ、此ノ救

濟ト申シマスルカ、斯様ナ制度ノ實施サレタ後ニ於キマシテモ何等カノ方法ニ依リマシテ、職場ヲ殘シ得ルヤウニト云フコトニ付キマシテ苦慮致シテ居リマスノデ、色々

ガ蠶種ヲ註文シ、ソレヲ會社ガ取ツテ、會社ガ直接ニ養蠶家ニ配給スルト云フコトニ

業者トシテ存在致シテ居ルノデアリマス、是ガ若シ蠶種ノ製造業者ニ對シマシテ會社

主トシテ關東方面ニ相當沿革ノアル一つノ業者トシテ存在致シテ居ルノデアリマス、是ガ若シ蠶種ノ製造業者ニ對シマシテ會社

云フモノトノ間ニ於テ今ノ配給ノ問題ニ付テ參畫ガ出來、隨テ手數料ト申シマスルカ、サウ云フヤウナモノニ依ツテ——從來ヨリハ無論或ル程度窮屈ナ點ガアルト云フコトハ覺悟シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、ウナコトノナイヤウニ方策ヲ立テタイト云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 此ノ間來設備ノ問題ニ付テ御質問ガアリマシタノデ、設備ハ或ハ買收ヲスル方針デ居ル、或ハ貸シテ宜シト

テ御質問ガアリマシタノデ、設備ハ或ハ買收ヲスル方針デ居ル、或ハ貸シテ宜シト云フ者ガ居ルナラソレモ宜シトイト云フ風ニ物的設備ダケノ話ガアリマシタノデ、サ

ウ云フ風ニモ言ヒマシタ、之ニハ從來カラ云フ者ガ居ルナラソレモ宜シトイト云フ風ニ物的設備ダケノ話ガアリマシタノデ、サリタダケデ宜モノデハナインデアリマシテ、ソコニハ設備ヲ買收スルナリ、借リルナリスルナラバ之ヲ活用シテ集荷配給ノ中

心ト云フコトニナリマスノデ、相當ノ從業員モ要ルコトト私ハ考ヘルノデアリマス、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、固ヨリ從來ソコヲ職場トシテ働イテ居ツタ人ハ優先的ニ無論採用シテ行キタイト云フコトハ十分考ヘテ行キタイト云フ積リデ居ルノデアリマス、是非サウ云フコトニ致シタ伊心組デ居ルノデアリマス

○鈴木(正)委員 大體諒承シマスガ、私ガ御伺ヒ申上ゲタ「ピント」ガ一寸御分リニラナカツタカ知レヌト思ヒマス、詰リ今マデ繭ヲ乾燥シタ、サウ云フ乾燥ノ仕事ヲ會社カラ貢金ヲ出シテ請負ヲヤラシテ下サル御思召ガアルカドウカ、其ノ點ヲ御明示願ヒタイト思フノデス

○吉田政府委員 乾燥請負ト云フト、要スルニ乾燥賃ヲ會社カラ貰ツテ獨立デ事業ヲシタイト云フコトデゴザイマスネ——ソレハ私ハ場合ニ依ツテ宜シイカト思フノデアリマス、乾燥料ヲ拂ツテ——要スルニサウシタフ設備ノアルモノニ其ノ設備ヲ活カシテ定ノ料金デヤラセルト云フコトハ今初メテヤツテ自分ノ經費ヲ拂フト云フコトモ宜デアラウン、養蠶家ガ持ツテ來タモノヲマスガ、是ハサウ云フコトガアツテ十分差支ヘナコト考ヘテ居ルノデアリマス

○鈴木(正)委員 第三ハ本法實施ノ曉ニ於ケル繭絲業者ノ地位如何ト云フ問題デアリマス、此ノ問題ニ付テハ私ハ既ニ本委員會ニ於ケル當局ノ御答辯ト、其ノ他ノ場所ニ點ヲ明カニシタト信ジマス、即チ一、上繭ヲ除ク玉二等以下ノ繭ノ集荷ハ從來通リ繭絲業者ノ手ニ残ス一、上述ノ繭ノ配給ニ付

テハ之ヲ統制會社ニ於テナスベキカ、或ハ斯カル面倒ナル仕事ハ從來通リ繭絲業者ニル一、繭取引ノ實際ニ於テ特殊ノ事情アル地方ニ對シテハ別ニ考慮ス一、玉二等以下ノ繭ノ集荷、配給ヲ繭絲業者ノ手ニ残シテ置ケバ不十分ナガラモ失業者トナラズニ食ツテ行ケルデアラウトノ認識ヲ有セラルコト

此ノ四ツハ大體私ハサウ考ヘテ居リマスケレドモ、斯ウ考ヘルコトハ感違ヒデアリマスカ、若シ感違ヒデアリマスナラバ、其ノ違ツタ點ヲ御指摘ガ願ヒタイシ、若シ間違ツテ居ナカツタラ其ノ通リデアル旨ノ御答ヲ得タイト思ヒマス

○吉田政府委員 今マデ申シマシタ私ノ言葉及ビ氣持ハ其ノ通リデアリマス

○鈴木(正)委員 有難ウゴザイマシタ、ソコデ私ノ質問ハ大體ソレデ終ルノデスケレドモ、以下質問ト云フヨリハ本法ヲ繞る國民ノ希望乃至御願ヒヲ申シ添ヘテ、下情上通ノ一助タラシムタイト云フ意味デ申上ガルノデアリマスカラ、左様御承知ノ上、幸ヒニ答辯ヲ得ラレル點ガアリマシタラ御答へ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

當局ノ御見込デハ玉二等以下ノ繭ヲ繭絲業者ノ手ニ残シテ置イテヤレバ、不十分ナガラモ失業者トナラズニ食ツテ行ケルデアラウトコトデアリマスケレドモ、業者ノ側デ言ヘバ、此ノ玉二等ダケデハ食ツテ行ケナイ特ニ玉二等ノ繭ダケヲ許サレテ、配給ガナクナツテハ逃モ食ツテ行ケナイ、斯ウ云フラモ失業者トナラズニ食ツテ行ケルデアラウトコトデアリマスケレドモ、業者ノ側デ言ヘバ、此ノ玉二等ダケデハ食ツテ行ケナイ特ニ玉二等ノ繭ダケヲ許サレテ、配給ガ

スケレドモ、會社ノ代行機關トシテ請負ハシテ貰ヒタイ、丁度先程ノ乾繭ノ仕事ヲ質仕事トシテ請負ヒタイト云フ希望ト共通ナ精神デアリマスケレドモ、自分ノ今ヤツテ居ル仕事ヲ失フノデハナイカ、仕事ハ其ノ儘ニシテ今マデノヤウナ——詰リ繭ヲ横ニ流シテ儲ケヨウト云フヤウナ根性ハ棄テマスケハ相當要ル、尤モ繭ノ配給單位ヲ大キ

此ノ言ヒ分ハ私ニハ分ツタヤウナ分ラヌヤウナ點ガアリマスケレドモ、満更分ラナイ

ノデモナイ、斯ウ考ヘマスガ、政府ノ御心持デハ統制會社カラ消費者ニ直接流セバ費

用ガ樂デ濟ムケレドモ、中ヘサウ云フモノ

計ガ立ツデアラウト申シテ居リマス、此ノ業者ノ希望ヲ十分御參酌ラ願ヒタイト思フ

ノデアリマス、隨テ玉二等ノ配給ハ是非從

業者一般ノ熱望デアリマス、私ハ此ノコト

ガ能ク分ラナカツタノデスケレドモ、業者

ハ、養蠶家ノ希望ハ懸ツテ繭代金ノ支拂ヲ停滯ナカラシムルコトニアリマス、是ハ此ノ委員會ノ開會以來會社ノ資本金問題ヲ繞ツテ繭代金ノ支拂ガ遲延スルノデハナイカ

ト云フ御懸念ガアリマシタノニ對シテ、當局者ハ努メテ御辯明ニナリマシテ、聊カ不安ハ感ジマスケレドモ、併シサウ行ツテ吳レバ宜イト切ニ願ツテ置キマス、是モ農村一般ノ切ナル希望トシテ十分手違ヒノナイヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ失業者ヲ統制會社デ職員トシテ採用シヨウト云フ思召ハ有難イガ、事實ノ問題トシテハ其ノ範圍ハ極メテ狭ク、一部ノ從業員ハ救ハレテモ商店主ハ救ハレナ

ト、統制會社カラ消費團體ニ繭ヲ流シテヤル場合ニ、吾々ノ手ヲ通シテ流シテモ、決シテ統制會社カラ直接ニ流スヨリ消費者ニ料ガナクテ宜イデハナイカト、私共モ常識的ニ考ヘテ居リマシタ、所ガ業者ニ言ハセル

テ居ラスヤウニ解釋シテ居リマス、其ノ間ヘ所謂代行機關トシテノ今マデノ繭絲業者ヲ入レバ、理窟ノ上カラ言ヘバ、統制會社カラ直チニ消費團體ヘ繭ガ行く方ガ手數高クナラズニ渡スコトガ出來ルト申シマス、私ノコトガドウモ能ク呑込メナカツタケレドモ、段々聽イテ見ルト、統制會社カラ消費團體ニ繭ヲ流シテ行クニハソレ相當ノ私ノコトガドウモ能ク呑込メナカツタケレドモ、吾々ノ多年ノ熟練シタ經驗ト、自分達ノ技術ト言ヒマスカ、サウ云フモノニ依ツテ自人ガ要ル、ソレ相當ノ費用モ掛ルノダ、其ノ費用ノ中テ吾々ニ請負ハセテ吳レバ、

吾々ノ多年ノ熟練シタ經驗ト、自分達ノ技術ト言ヒマスカ、サウ云フモノニ依ツテ自分達ノ食扶持ダケヲ稼ギ出シテ、結局ニ於テ會社ニモ、消費者ニモ損害ヲ掛けナイノトガ出來ルト斯ウ云フ風ニ言ウテ居リマス、

此ノ言ヒ分ハ私ニハ分ツタヤウナ分ラヌヤウナ點ガアリマスケレドモ、満更分ラナイノデモナイ、斯ウ考ヘマスガ、政府ノ御心持デハ統制會社カラ消費者ニ直接流セバ費

ガ入ツテ來レバ結局會社力消費ガ餘分ナモノヲ負擔シナケレバナラスト云フ御考ヘデアリマセウカ、私ハ自分ニモ分ツタヤウナ分ラナイヤウナコトデアリマスカラ、十分ナ説明ハ届キマスケレドモ、此ノ點ニ付テ政府ガ若シ御理解ガ出來ヌト云フナラ、業者ノ間デ相當シツカリ説明スル者モアラウト思ヒマスケレドモ、兎ニ角一應御尋ネ致シタインハ業者ニ代行サセル、是ハ代行者ガ自己ノ計算ニ於テ繭ヲ流スニアラズシテ、會社ノ計算ニ於テ繭ヲ流シテ行ク、自分達ハ唯其ノ間ニ於テ僅カナ手數料ヲ貰フ、現ニ豐橋ノ繭問屋ノ經驗カラ申シマスト、百一ト云フノガ手數料ノ常識ニナツテ居ル、百圓ニ對シテ一圓、サウ云フ安イ手數料デハ會社デヤツテモ中々出來ナイダラウト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスケレドモ、サウ云フ點ニ付テ當局ノ御心持ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

格別會社ノ方ニモ損ガナケレバ消費者ノ方ニモ損ガナシニ繭ノ配給ガ出來ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ原則的ノ理論トシテクニモ非常ニ困ル、結局サウ云フヤウナ人ノ世話ニナツテ繭ノ配給ヲ會社カラシテ貰フ、會社ノ方カラ配給スルノモ面倒臭イ、取リニ來イト言ツテモ面倒ダト云フヤウナ相當廣範圍ナ所謂小サナ製絲家ト云ツタヤウナモノガアルノデハナイカト思ヒマス、大製絲家ナラ無論問題ハナシニ直接行ケバ、其ノ間ニ入ルト云フコトハ無論アリ得マセヌケレドモ、サウ云ツタ要スルニ製絲設備ヲ持ツテ居ル人達ノ中デ、兎角自分自ラヤラズニ、斯ウ云フ人ヲ通ジテヤル方ガ寧ロ便利デアリ、又サウ云フ經費ヲ豫メ覺悟シテ、今日マデモ繭ノ購入ヲシテ居ルヤウナ業者ガアルノデハナカラウカト察スルノデアリマシテ、ソコ等ノ點ハ、實情ニ無理ノナイ限りハ一向差支ヘナインデハナイカト、今御話ヲ聽イテ考ヘマスノデ、能ク實情モ見マシタ上デ、根本ノヤリ方ニエライ支障ヲ起ストカ、混亂スルトカ云フヤウナ大ナル弊害ヲ惹キ起サザル限リハ、私ハ實情ヲ出來ルダケ尊重シテ行ツテ、今ノ希望ニモ副ヒ得ルモノナラバ副ヒタイ、斯ウ云フ氣持デ是ハツツ實情ヲ聽イテ見タリ、調べテ見タリ致シタイト考ヘマス

セハ最初ニ座織ノ自家用製絲ガ自己ノ生産致シマシテ、是ガ盛ンニナルト共ニ全國ノ製絲家ヲ集メテ、繭賣買仲立業ガ頗ル旺盛ヲ極メルヤウニナリマシタ、而モ此ノ繭賣買業トハ普通ノ繭賣買業ノ如ク、自己ニ於テ繭ヲ買入レ、之ヲ適當ノ時ニ販賣シ、其ノ間ノ値闇キヲ以テ自己ノ利益トスル業トハ異ナリマシテ、賣買兩者ノ中間ニ在ツテ賣方ト買方、即チ養蠶者ト製絲者トノ中間ニ立ツテ、其ノ商談ヲ成立セシメ、其ノ報酬トシテ一定率ノ口錢ヲ收入スルト云フ仲立業ノ純粹ノ形態ニ於テ發達シテ參ツタモノデアリマス、此ノコトハ豐橋地方ニ於テ中小製絲ヲ開業スルニ當リ、他地方ノ如ク當初ヨリ莫大ナル資本ヲ要セズシテ開業スルコトヲ可能ナラシメ、隨テ中小製絲業者が群立シテ、今日ノ所謂蠶都大豐橋ナルモノヲ實現シタノデアリマス、即チ豊橋附近ノ現狀ハ製絲釜數ニ於テ、機械製絲ガ約八千釜、此ノ中約六千釜ハ設備釜數百五十釜以下ノ中小國用製絲デアリマシテ、其ノ他玉絲製絲三千五百釜、座織製絲ガ二千釜アリマス、是等ノ中小製絲業者ハ、其ノ殆ド全部ノ原料繭ヲ直接養蠶者又ハ其ノ團體ヨリ購入セズシテ、繭賣買仲立業者、即チ所謂繭問屋ニ依存シテ、繭問屋ガ全國ノ製絲業者ノ過剩繭、及び生繭市場ノ賣繭、及び乾繭、倉庫ノ賣繭、並ニ豐橋ノ問屋業者ノ生繭市場へ出廻ル生繭、並ニ乾繭等ヲ菟收シテ來タ原料繭ニ依存シテ居リマス、是ガ現狀デアリマシテ、而モ是等中間業者ガ全國ヨリ繭ヲ菟收スル方法ハ、上述ノ如ク自

己ノ思惑ニ依ツテ其ノ値開キヲ利スルノ方
法デハアリマセヌノデ、所謂横ニ流スト云
フ性質ノモノニアラズシテ、前述ノ如ク賣
方及ビ賣方ノ委託ニ依ツテ商談ヲ運ビ、賣
買代金ノ百分ノ一ノ手數料ヲ以テ世話ヲシ
テ居ルト云フ營業ノヤリ方デアリマス、全
業者六十三軒、從業員四百名、重要物產同業
組合法ニ依ル東三繭絲問屋同業組合ヲ大正
六年組織シテ今日ニ及ンデ居リマス、年ニ
依ツテ勿論繭ノ扱ヒ量ハ達ヒマスケレドモ、
茲ニハ昭和十三年度カラ十四年度ニ至ル實
際ニ繭ノ取扱ヲシタ數量ヲ調べタモノガア
リマス、是ハ公ニ認メラレテ居ル數量ト稱
シテ居リマスケレドモ、後デ御参考マデニ
御手許ニ差上ゲテモ宜シウゴザイマス、大
體上繭ガ三百万貫玉繭ガ二百五十萬貫、中
下繭ガ百五十萬貫ニ達シテ居ルノデアリマ
シテ、全豐橋ノ消費數量ノ七割ガ此ノ所謂
賣買仲立業者ニ依ツテ配給セラレテ居ルト
云フ實情デアリマス、斯ウ云フヤウナ特殊
ナ事情ハ單ニ豐橋地方バカリデハナシニ、
全國ニモ部分的ニ存在スルコトト存ジマス
ガ、サウ云フ特殊ノ事情ヲ御賢察下サイマ
シテ、法文第四條ノ繭ノ賣渡ニ對スル項目
ノ中ノ「但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限
リニ在ラズ」、繭ノ買ヒ方ノ場合ニ「但シ命令
ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フ
此ノ命令事項ハ、御示シ下サイマシタ命令
事項ノ内容ヲ見マシテモ此ノ點ハハツキリ
分ツテ居リマセヌケレドモ、希クバ此ノ命
令事項ノ中ノ一要素トシテ御考慮ヲ煩ハシ
タイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲル次第デア
リマス

特殊ナ事情ノアルコトハ承知致シテ居リマス、同ジヤウナ形モ無論餘所ノ土地ニモアルコト思フノデアリマス、要スルニ此ノ今度ノ制度ト云フモノハ非常ニ大キナ大綱ノ所ヲ決メテ置イテ、ソコニ落着カセヨウト云フ所ニ趣意ガアルノデアリマスカラ、要スルニ此ノ根本ノ原則ニ矛盾ヲ來サザル限リハ、先程モ申シマシタヤウニ實情ニ合フヤウニ、混亂ノ起キナイヤウニハ心配ヲシナイヤウニト云フ意味デ、シナイデモ宜イコトハ成ベク現狀ノ儘ニシテ之ヲ素サナイ、斯ウ云ツタ氣持デ居ルノデアリマスカラ、今ノヤウナ場合ハ私能ク實情モ研究致シマシテ、出来ルダケ御希望ニ副ヒタイト云フ氣持ヲ以テ考ヘテ見タイト思ヒマス、併シマダ私其ノ實情ガ能ク頭ニモ入ツテ居リマセヌデ、分リマセスカラ、豊橋ノ繭ノ取扱ダケハ例外ダト云フヤウナコトニ御考ヘテ願ツテハ困ルノデアリマス、豊橋ノ場合ハサウ云フ場合デアルカトモ思ヒマスガ、若シ違ツテ居ルト云フト、豊橋繭ダケニハ例外ノ取扱ヲスルノダト云フヤウナ意味ニ御了解願フト困ルコトガアルノデアリマスカラ其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○鈴木(正)委員 御心持ハ能ク分リマシタ、是非今申上ゲタ大綱ヲ破レトハ無論註文スル者デモアリマセスカラ、御差支ヘノナイ限リ此ノ際ニ於テ成ベク失業者ヲ出サヌヤウニ十分御考慮願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ私ノ質問ハ打切りマス

○高橋委員長 松岡君

○松岡委員 私ノ質問ハ貿易局長官ニ御出席ヲ願ヒタインデス

○宮澤(胤)委員 貿易局長官ガ御見エニナルマデノ間鈴木君ノ質問ニ關聯シテ一寸……

○高橋委員長 ソレデハ此ノ場合、松岡君ガ貿易局長官ガ來ラレルマデ保留サレテ居リマスカラ、鈴木君ニ關聯シマシテ宮澤君ニ御許シ致シマス○宮澤(胤)委員 今ノ蠶種賣買業者ヲ何トカ取入レヨウト云フ御心持ト、ソレカラソレニ對スル案ガ幾ツモアルト云フヤウナ御話デ、ソレハ結構デアリマス、是ハ何年カ此ノ統制ガ續イテ行ケバ知リマセヌケレドモ、今日ノ場合ハヤハリ蠶種賣買業者ガ中間ニ在ルコトガ蠶種ノ配給ニ私ハ必要ダト思フノデアリマス、之ヲ一遍ニ外シテ會社デ直接ヤルナンテ言ツテモ、是ハ出來ツコアリマセヌ、僅カ一週間カ三日ノ間ニ毎日出テ來ル蠶種ヲズワト適當ニ配給スルノデスカラ、之ヲ一ツヤリ損ヘバ大變ナコトニナル、隨テ蠶種賣買業者ヲ間ニ入レルコトハ私ハ當分ノ間必要デアルト思フ、サウスルト今ノ蠶種賣買業者ノ扱ツテ居ルノガ三割トカ四割ト云フノデアリマスガ、此ノ蠶種賣買業者ニ對シテソレダケノ御心持ガアルナラバ、蠶種賣業者デ直接配給シタ者ト、直接配給シナイ賣買業者ヲ一ツニシテ組合デモ作ラセテ配給機關ヲ設定スル、斯ウ云フ具體的ノ方法ヲ一ツ御採リニナルコトヲ言明サレタラドウカト思ヒマスガ、ドウデセウ

○吉田政府委員 色々關係スル所モアリマスカラ私共色々研究致シテ居ルノデアリマス、今仰シヤツタヤウナ御議論モ承知致シテ居リマシテ、研究致シテ居ルノデアリマス、ドノ方法ガ宜シイカト云フコトハ役所ダケデハナイ、是ハ又養蠶家ノ方ノ團體デス、今仰シヤツタヤウナ御議論モ承知致シテ居リマシテ、研究致シテ居ルノデアリマス、ドノ方法ガ宜シイカト云フコトハ役所ダケデハナリ、是非トモ取ルト云フコトモ出テ來マセウ、スル上ニ付テハ、ドウシテモ立派ナモノヲ

○高橋委員長 松岡君

○松岡委員 私ハ國家ノ現況カラ考ヘテ見テ、高イ所カラ萬事ヲ眺メネバナラスカト信ズル者デアリマス、斯ノ如ク事變ガ數年ニ亘ツテ、國費ヲ費スコト斯ノ如ク巨額ニ達シ、今後益此ノ方面ニ主力ヲ用ヒナケレバナラヌノデアリマス、是等ノ消費セラレタル實力ノ回復ニハ、國民悉ク舉ツテ内ニ於テハ大イニ自ラヲ戒メ、外ニ向ツテハ大いニ發展スルヤウニセネバナラヌト信ズルノデアリマス、即チ國內ニ於テハ出來ルダケテハ大イニ自ラヲ戒メ、外ニ向ツテハ出來ルダケ自分ヲ抑ヘ、國外ニ向ツテハ出來ルダケ發展セナケレバナラヌノデアリマス

〔委員長退席、高橋(圓)委員長代理着席〕

斯様ニ國外ニ向ツテ大發展シヨウトシマス、スル上ニ付テハ、ドウシテモ立派ナモノヲ

得スルヤウニ努メナケレバナラスト思フノ
デアリマス、事變ガ長引キ國力ガ消耗セラ
ルニ從ツテ、一段ト茲ニ力ヲ用ヒナゲレバ
ナラヌ情勢ニアルト信ズルノデアリマス、
是ガ即チ初メテ貿易ニ重點ヲ置イテ、新シ
イ機構トシテ貿易局ナルモノガ出來、サウ
シテ長官マデモ出來タト云フヤウナ工合ニ
ナツテ居ルト信ズルノデアリマス、從來ノ
如クデアレバ斯様ニ機構ヲ擴大シテ一生懸
命ニナル必要ハナノデアリマス、茲ニ國
民悉ク高イ所カラ眺メテ忍ブベキ所ハ忍
ビ、伸バスペキ所ハ大イニ伸バスト云フヤ
ウニ行カナケレバナラスト思フノデアリマ
ス、單ナル國內ノ問題ノミニ蹕躋シテ——勿
論國民ノ幸福ヲ増大セシムルコトハ政治
ノ要諦デアリマスケレドモ、吾々後年ノ子
弟ノ爲ニ今日踏臺トナリ捨石トナツテ將來
ノ幸福ヲ確保スル如クニ覺悟セネバナラ
ト思フノデアリマス、是ガ本當ニ今次事變
ニ際會シタル現代ノ吾々ガ覺悟セネバナラ
ス所デアルト思フノデアリマス、斯様ニ考
ヘテ見マスル時ニ於テ、國內ノコトハスク
スクナサネバナラスト云フヤウナ點ハ多々
アラウト思フノデアリマス、サウ云フ意味
カラ私ハ御尋ネ致スノデアリマスルカラ、其
ノ御積リデ御答辯ヲ煩ヘシタイト思ヒマス
先般來ノ本委員會ニ於テ現ハレタル質
問應答ノ狀況ヲ一語モ漏スコトノナイヤウ
ニ努メテ伺ツタノデアリマス、昨日營林當
局ノ御説明ニ依リマシテ、取引機能ノ必要
ナル所以ヲ詳述セラレタノデアリマシタ、
私ハ之ヲ拜聽致シマシタ、所ガ去ル二月五
日或ル所ニ於テ、斯様ナル取引機能ハ最早
必要ハナクナルノダ、農林當局カラ本案ノ
内容ヲ聽イタ結果トシテ全ク必要ノナイモ

ノダ、ダカラニ付テハ輸出方面ヲモ總デ
全體買入レテ一元統制ニスルト云フ案ニ贊
成シテハドウカ、取引所買收ノ上ニ付テ盡
力シテヤルカラドウデアルカト言ウテ、當
業者ヲ呼ンデ、懇談ト言フカ何ト言フカ、
一種ノ壓力ヲ以テ向ツタ狀況ガアルノデア
リマス、之ニ對シテ輸出當業者及ビ取引業
者ガトンデモナイコトダト猛烈ナ反駁ヲ試
ミテ質問應答ガ行ハレタ事實ガアルノデア
リマス、是ハ二月五日デアリマス、所ガ
昨日ノ本委員會ニ於ケル農林當局ノ御説明
ニ於テハ、是ハ損失ヲ少カラシムルヤウニ
アリマス、一方ニ於テハ政府ノ本案ノ内示
保險的ナ機能ヲ持ツ所ノ取引所デアツテ、絕
對ニ必要デアルト云フ農林當局ノ御説明デア
リマス、一方ニ於テハ政府ノ本案ノ内示
ヲ受ケタルモノト稱スル人々ガ集マツテ、
當業者ヲ呼ンデ、斯様ナモノハ必要ハナイ
ノデアル、ソレダカラ一刻モ早ク贊成シテ
行ツタラドウカ、其ノ買收ニ付テハ盡力シ
テヤルゾト云フコトヲ言ハレテ居ルノデア
リマス、無論本委員會ニ於ケル農林當局ノ
言ヲ私ハ信ズル者デアリマズケレドモ、斯
ウ云フヤウナ內面的ナ狀況ヲ承リマスルト
其ノ間ニ若干ノ疑ヒナキヲ得ネイノデアリ
マス、殊ニ銳敏ナル取引所、或ハ輸出業方
面ニ影響スル所顧ル大ナル本問題ノ扱ヒニ
付テハ、昨日ノ御言明モアリマシタケレド
モ、モウ一應ニ付テノ御所見ヲ承リタイ
ト思フノデアリマス

方法デアルノデアリマシテ、又輸出業者ガ海外デ註文ヲ受ケテ賣リマシテ、ソレヲ現物デ市場デ十分ニ買埋メガ出来ナイヤウナ場合ニ、是亦保險的ニ市場ニ於テ其ノ數量ダケ少クトモ買埋メヲ致シテ置キマシテ、漸次現物ニ於テ氣持ニ合ツタモノヲ出來ルダケ獲得シテ行クト云フヤウナ意味ノ繫ギニ於テモ極メテ必要ナノデアリマス、現物市場ダケデ物ガ忽チニシテ得フレルト云フコトガナイノデ、相場ノ安心ノ爲ニ賣人側買人側、共ニ斯ウ云フ特殊ノ市場ヲ利用致シマシテ、安全ナル商賣ヲ行ツテ行キマスル上ニ於テ極メテ必要ト私共考ヘテ居ルノデアリマス、唯時折色々ノ現象ガ現ハレマシテ弊害ノ起ル場合モアルノデアリマスガ、シタヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、私共ハ其ノ弊害ノ方面ニ付テハ、改ムベキハ改メテ行ケバ宜イノデ、本質的ニハ昨日モ次官カラ申シマシタ通り、又私が申シマシタヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、清算市場ト云フモノハ、此ノ取引ノ圓滑ナル流レニ對シテ非常ナ貢獻ヲナス「マーケット」デアル、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス

得センケレバナラヌト云フ上ニ付テハ如何
様ナ方法デ行ツタラ宜シイカ、私ノ尋ネン
トスル所ハ、本統制案ノ一ツノ問題ニナル
ノデアリマスガ、一方ニ於テハ輸出ヲ自由
放任ニスルコトハ宜シクナイト云フ意味ニ
於テノ御質疑ガ盛ニアリマシタ、一面ニ
於テハ相手ノアルモノデハナイカ、左様ナ
譯ニハ行カナイト云フコトモ言ハレテ居リ
マス、或ハ之ヲ米國依存ノ媚態外交デアル、
媚態商業デアルト云フ程マデニ申サレルコ
トモアルノデアリマス、私ノ見ル所ニ於テ
ハ、今日此ノ事變ニ依ツテ是ダケノ消耗ヲ
スル、各般ノ回復ノ上ニ於テ——單ナル回
復デナク、更ニ力ヲ増大シテ他日ノ飛躍ヲ
期スル上ニ於テノ執ルベキ途ハ、唯獨リ外
國ヘノ發展デアル、國民舉ツテ茲ニ集中力
ヲ持タナケレバナラヌト云フ程ニ熱力ヲ持
ツテ居ルノデアル、ドチラガ宜イソカ、本
案ノ判断上ニ於テハ最モ有力ナ問題デナイン
カト思フ、當局ノ説明ニ依リマスレバ、之
ヲ一元統制ニシテモ品位ガ悪クナラヌト云
フコトヲ言ツテ居ル、一面カラ申シマスト
サウデナイ、此ノ輸出ヲ自由ニシテ居ル結果
果、絲價ヲ左右サレテ農民ガ之ニ依ツテ困
ル、斯ウ言ウテ居リマスガ、左様ニ絲ノ値
上リ、值下リニ依ツテ左右サレル程ニ弱イ
モノデアルトシタナラバ、一元統制サレタ
時ニ於テノ品位ノ低下ナドハナイト言フコ
トガ出來ナイヤウナ矛盾シタ結果ニナルノ
デアリマス

ノデアル、此ノヤウナ工合ニ貿易方面ニ國民ガ全力ヲ注ガナケレバナラヌ、國家トシテモ一大重點ヲ茲ニ置カナケレバナラヌト云フ、時ニ於テ、一面國內ヲ思ツタナラバ、農民ノ窮狀如何ト云フコトモ無論考ヘナケレバナラヌコトデアル、一面貿易方面ヲ考ヘレバ其ノ通リデアル、國家全體トシテ高イ所カラ眺メテ、此ノ兩者ヲ如何ニスベキ方ト云フ所ニ政治ノ妙味ガアリ、苦心ガアリ、當局ガ茲ニ容易ニ言明シ得ナイコトモアルノデハナイカト思フ、本當ニ清算市場ヲ輸出方面ノ一元統制ノ中ニ入レズシテ、除外セラレテ居ルト云フヤウナコトガ宜イカ惡イカト云フ問題ヲ決スルノガ、即チ貿易局長官、本當ニ國家ヲ思ウテノ海外發展——吾現代ニ於テ將來ノ子孫ノ爲ニ捨石トナルベキ今日ニ於テ如何ニセンケレバナラヌト云フヤウナ點ニ付テハ、アナタノ見タ所ヲ率直ニ申シテ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ斯様ナ意味ニ於テ、農林當局ガ清算市場ノ必要ナル所以ヲ昨日モ言明セラレ、本日更ニ明カニセラレテ、暗雲一掃ノ形デアリマスケレドモ、マダ其ノ事柄ニハ、一部ノ失業者ヲ生ズルガ爲ニ何等力残シテ居ルカノ如ク、當局ノ説明ニ慊ラナイヤウナ點ガアルノデアリマスカラ、貿易局長官トンテドウ云フ御所見デアルカ、確タル御信念ヲ承リタイ

アリマシタ通り、我ガ國トシマシテハソレ
相當ノ備ヘガアル譯デアリマシテ、犠牲ヲ
拂ツデマデモ是非外國へ出サケレバナ
ラスト云フモノデハナイトハ存ジマスケレ
ドモ、只今御話ノアリマシタ通り、今日國
力ノ增强ヲ圖リマス上ニ、國是ノ根本ヲ搖
ガサナイ限リニ於キマシテハ、出來得ル限
リ外貨ノ獲得ヲ致シマシテ、國內整備ヲ圖
ツテ行ク必要ガアルコトハ申スマデモナイ
コトデゴザイマス、生絲ノ輸出ニ付キマシ
テハ、私共モ大體農林省ノ方面ノ御考ヘト
同感ニ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、今寶
易金般ニ瓦リマシテ、我ガ國ト致シマシテ
モ成ベク輸出ヲ圖リタイトハ言ヒマスモノ
ノ、自ラ其處ニ物資ニモ限リガアルノデア
リマシテ、同ジ輸出ヲ致シマスナラ成ベク
條件ノ好イ輸出ヲ進メテ行クコトガ今日私
共トシテ努メナケレバナラナイ點ダト考ヘ
テ居リマス、此ノ點ニ於テ少クトモ現下ノ
情勢ニ於ケル生絲輸出ノコトヲ考ヘテ見マ
スト、何ト申シマシテモ實際ニ於テ我が生
絲ヲ需要スル相手先ハ主トシテ「アメリカ」
其ノ他ノ全然我ガ國トハ經濟思想ナリ、或ハ
機構ナリノ違ツテ居ル市場デアリマスカラ、
之ニ對シテ生絲ヲ成ベク餘計輸出ヲシテ參
ルト云フコトノ爲ニハ、ヤハリソレ相當ノ
備ヘガアツタ方ガ宜シイト考ヘラレルノデ
アリマス、從來蠶絲業ノ問題トシテ繰返シ
繰返シ問題トナツテ參リマシタ所謂絲價安
定ノ問題ニ致シマシテモ、需要先タル「アメ
リカ」ニ於ケル第一次ノ需要者タル絹業家
ガ如何ナル絲價安定ヲ要望シテ居ルカト申
シマスト、私共ノ見ル所ニ依リマスト、何
モ必ズシモ一本ノ固定シタ値段ヲ要望シテ

居ルノデハナノデアリマシテ、或ル程度ノ波瀾ヲ寧ロ望ンデ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、一昨年ノ秋カラ段々ニ上リ昨年ノ春急落致シマシタヤウナアア云フ變動ハ、勿論大體ニ於テ望マナイ所デハゴザイマスケレドモ、或ル程度ノ多少ノ高下ト云フモノハ却テ彼等ノ希望スル所デアリマンテ、此ノ點ハ現在ノ米國市場ニ於ケル生絲ニ對スル競争纖維タル人絹ト生絲トノ、機業家ニ取ツテノ便益ト云フコトヲ能ク比較シテ見マス場合ニ、人絹ヲ使フ場合ニ於テハ米國ノ絹業家ニ取ツテ色々ト便益ガアルノデアリマスガ、唯一ツ人絹ヲ使フ場合ヨリモ生絲ヲ使フ場合ノ方ガ絹業家ニ取ツテ都合ガ宜シイト云フコトヲ申シマスル點ハ、是方實ヲ言フト人絹ガ非常ニキチント價格ガ決まり過ギテ居ル、開ケ放シデアル、然ルニ生絲ノ方ガ兎ニ角多少ノ動キガアル、是方絹業家ニ取ツテ其ノ事業ヲ進メテ行ク上ニ寧ロ都合ガ宜シイト云フコトヲ、私共「アメリカ」ニ勤務致シマシタ頃ニ、私バカリデナク同僚何レモヨク聞イタ所デアリマシテ、當時私ハ其ノコトヲ農林省ニモ報告致シタコトガゴザイマス、此ノ關係ハ今日ト雖モ變リガナイト信ズルノデアリマシテ、若シ非常ナル統制ヲ輸出生絲ニマデ及ボスコトニ依ツテ價格ガ非常ニ安定スル、ソレハ恐ラク米國絹業家ノ喜ブ所デアラウ、斯様ニ希望スル價格安定ナルモノヲ検討シテ見マスト、今申シマシタヤウナコトニナルノデ考ヘラレルコトハ洵ニ無理ノナイトコデハアリマスケレドモ、仔細ニ立入ツテ彼等ノソコニ思ハザル不利ガ生ズルノデハナイダラウカト憂フルノデアリマス、其ノ他

或ハ絲格ノ變異ト云フヤウナコトハ、是モ既ニ農林當局カラ御話ガアツタト存ジマスガ、需要者ト生産者トノ間ニ責任ヲ以テ全部買取ル一元統制ノ一ツノ機關ガ出来マスクトハ、ドウシテモソコニ打切ラレタル取引關係ヲ生ズルノデアリマシテ、詰リ生産者カラ統制機關ニ賣ラレルト云フコトデ、一應其ノ取引ハ打切ラレテ、ソレカラ又改メテ取引ガ發足スルコトニナルノデアリマスガ、之ニ依ツテ需要者ノ慾求ガ十分ニ反映シナイヤウナコトガ起り勝チナノデアリマス、唯左様ナ不利ガアツテモ其ノ不利益ヲ忍ベバ尙ホ大キナ利益ガ得ラレルト云フヤウナ場合ニハ、或ル程度サウ云フ統制機關モ必要ニナツテ參リマスガ、生絲ノ場合ニハ既ニ最低價格ノ保障ガ國家ノ財力ヲ以テ行ハレテ居リマスルシ、又絲ノ品質ニ付テハ御承知ノ通リ國立検査所ノ精密詳細ナル検査ガアルノデアリマシテ、之ヲ例ヘバ今日ノ他ノ輸出品タル雜貨其ノ他ニ付テノ雜然タル生産トソレカラ輸出ノ部門トノ取引ノ如キモノトハ、餘程其ノ趣キガ違フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ見マシテ只今ノ品質ノ低下ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、私共ト致シマシテハ、若シ願ヘルモノナラバ製絲家カラ輸出商ヘノ直接取引、ソレカラ米國ノ絹業家ニ賣ラレル、其ノ間ニ段階ハアリマシテモ、需要者ノ意向ヲ供給者が受ケテソレニ忠實ニ生産ナリ供給ナリヲスルト云フヤウナ機構ニシテ置イタ方ガ現在ノ事情ニ於テ適切デハナカラウカト思フノデアリマス、現在貿易關係ニ於キマシテ、所謂貿取會社ト云フモノガ色々輸出品ニ付テアル

ノデアリマスガ、是等ノモノニ付キマシテハ、要スルニ非常ニ廉賣競争ガ行ハレル危険ガアル、或ハ見掛けダケハ同ジヤウナモノデ、内容ノ惡イ粗悪品ヲ賣ル危険ガアル、例ヘバ或ル一ツノ商品ニ付テ或ル商社ガ市場ヲ獲得スル、其ノ後カラ直グ非常ナ値ノ安い、一見シテ同ジヤウナモノデ、而モ非常ニ不良ナモノガ入ツテ來テ競争スルト云フヤウナコトガ行ハレマンテ、トモスルト日本人同士ノ謂ハバ不當ナ競争ニ依ツテ徒ラニ輸出貿易ヲ阻碍シテ居ルト云フヤウナ憂ヒノアルモノニ付キマシテ、トモ日色々ト所謂買取會社ト稱スル輸出部門ニスルト日本統制會社ノ設置ヲ見テ居ルノデアリ

マス、是ハソレヽノ商品ノ事情ナリ何ナリヲ餘程能ク實質的ニ検討致シマシテ、其ノ必要ナ部面ニ於テ必要ナル處置ヲシタ方於ケル統制會社ノ設置ヲ見テ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ國內製品ノ價格トノ他ノ關係ト、ソレカラ輸出品ノ價格トノ關係ニ付キマシテモ、申スマデモナク今日我ガ國ノ輸出品ノ主ナルモノトシマシテハ、生絲ノ外ニ御承知ノヤウニ各種ノ纖維ノ織物其ノ他ノモノガザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ、國內ノ生產配給等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、非常ニ周密ナル統制ガ行渡ツテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマス、獨リ相撲デハイケナイ、相手ノアル場居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ輸出品ニ付キマシテハ、是ハ努メテ需要地ノ需要ニ適合シタルモノヲ成ベク有利ニ販賣スルト云フコトノ爲ニ、生産者ニシマシテモ、優秀ナル生産者ヲシテ之ニ當ラシメルシ、

ソレカラ又販賣值ニシマシテモ、是ハ別段御承知ノヤウニ公定價格デ制限サレルト云フコトノナイヤウニ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ今日ノ我が國ノ物動計畫、貿易計畫、其ノ他ノ現下ノ情勢ニ於ケル非常ニ難カシイ問題ニ付テ、色々考ヘレバ考ヘル程中々難カシイノデアリマシテ、何トカ致シマシテ出來得ル限リヤハリ有效ナ貿易ヲ進メテ行カナケレバナラナイヤウニ感ジテ居リマス、是等ノ點ト、ソレカラ年來ノ問題デアリマス我ガ蠶絲業ノ安定ト云フ問題ト、兩者兼ネ合セテ考ヘテ見マシテ、此ノ輸出部門ニ付キマシテノ農林當局ノ御考ヘノヤウナコトヲ進メマシテモ、ソレ等ガ宜シイデハナイダラウカト云フ風ニ考ヘマスノデ、生絲ノ關係ニ於キマシテハドウモ其ノ事情ガ違フヤウニ感ジテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ國內製品ノ價格トノ他ノ關係ト、ソレカラ輸出品ノ價格トノ關係ニ付キマシテモ、申スマデモナク今日我ガ國ノ輸出品ノ主ナルモノトシマシテハ、生絲ノ外ニ御承知ノヤウニ各種ノ纖維ノ織物其ノ他ノモノガザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ、國內ノ生產配給等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、非常ニ周密ナル統制ガ行渡ツテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、是ハ努メテ需要地ノ需要ニ適合シタルモノヲ成ベク有利ニ販賣スルト云フコトノ爲ニ、生産者ニシマシテモ、優秀ナル生産者ヲシテ之ニ當ラシメルシ、

ソレカラ又販賣值ニシマシテモ、是ハ別段御承知ノヤウニ公定價格デ制限サレルト云フコトノナイヤウニ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ今日ノ我が國ノ物動計畫、貿易計畫、其ノ他ノ現下ノ情勢ニ於ケル非常ニ難カシイ問題ニ付テ、色々考ヘレバ考ヘル程中々難カシイノデアリマシテ、何トカ致シマシテ出來得ル限リヤハリ有效ナ貿易ヲ進メテ行カナケレバナラナイヤウニ感ジテ居リマス、是等ノ點ト、ソレカラ年來ノ問題デアリマス我ガ蠶絲業ノ安定ト云フ問題ト、兩者兼ネ合セテ考ヘテ見マシテ、此ノ輸出部門ニ付キマシテノ農林當局ノ御考ヘノヤウナコトヲ進メマシテモ、ソレ等ガ宜シイデハナイダラウカト云フ風ニ考ヘマスノデ、生絲ノ關係ニ於キマシテハドウモ其ノ事情ガ違フヤウニ感ジテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ國內製品ノ價格トノ他ノ關係ト、ソレカラ輸出品ノ價格トノ關係ニ付キマシテモ、申スマデモナク今日我ガ國ノ輸出品ノ主ナルモノトシマシテハ、生絲ノ外ニ御承知ノヤウニ各種ノ纖維ノ織物其ノ他ノモノガザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ、國內ノ生產配給等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、非常ニ周密ナル統制ガ行渡ツテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、是ハ努メテ需要地ノ需要ニ適合シタルモノヲ成ベク有利ニ販賣スルト云フコトノ爲ニ、生産者ニシマシテモ、優秀ナル生産者ヲシテ之ニ當ラシメルシ、

ソレカラ又販賣值ニシマシテモ、是ハ別段御承知ノヤウニ公定價格デ制限サレルト云フコトノナイヤウニ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ今日ノ我が國ノ物動計畫、貿易計畫、其ノ他ノ現下ノ情勢ニ於ケル非常ニ難カシイ問題ニ付テ、色々考ヘレバ考ヘル程中々難カシイノデアリマシテ、何トカ致シマシテ出來得ル限リヤハリ有效ナ貿易ヲ進メテ行カナケレバナラナイヤウニ感ジテ居リマス、是等ノ點ト、ソレカラ年來ノ問題デアリマス我ガ蠶絲業ノ安定ト云フ問題ト、兩者兼ネ合セテ考ヘテ見マシテ、此ノ輸出部門ニ付キマシテノ農林當局ノ御考ヘノヤウナコトヲ進メマシテモ、ソレ等ガ宜シイデハナイダラウカト云フ風ニ考ヘマスノデ、生絲ノ關係ニ於キマシテハドウモ其ノ事情ガ違フヤウニ感ジテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ國內製品ノ價格トノ他ノ關係ト、ソレカラ輸出品ノ價格トノ關係ニ付キマシテモ、申スマデモナク今日我ガ國ノ輸出品ノ主ナルモノトシマシテハ、生絲ノ外ニ御承知ノヤウニ各種ノ纖維ノ織物其ノ他ノモノガザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ、國內ノ生產配給等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、非常ニ周密ナル統制ガ行渡ツテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、是ハ努メテ需要地ノ需要ニ適合シタルモノヲ成ベク有利ニ販賣スルト云フコトノ爲ニ、生産者ニシマシテモ、優秀ナル生産者ヲシテ之ニ當ラシメルシ、

ソレカラ又販賣值ニシマシテモ、是ハ別段御承知ノヤウニ公定價格デ制限サレルト云フコトノナイヤウニ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ今日ノ我が國ノ物動計畫、貿易計畫、其ノ他ノ現下ノ情勢ニ於ケル非常ニ難カシイ問題ニ付テ、色々考ヘレバ考ヘル程中々難カシイノデアリマシテ、何トカ致シマシテ出來得ル限リヤハリ有效ナ貿易ヲ進メテ行カナケレバナラナイヤウニ感ジテ居リマス、是等ノ點ト、ソレカラ年來ノ問題デアリマス我ガ蠶絲業ノ安定ト云フ問題ト、兩者兼ネ合セテ考ヘテ見マシテ、此ノ輸出部門ニ付キマシテノ農林當局ノ御考ヘノヤウナコトヲ進メマシテモ、ソレ等ガ宜シイデハナイダラウカト云フ風ニ考ヘマスノデ、生絲ノ關係ニ於キマシテハドウモ其ノ事情ガ違フヤウニ感ジテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ國內製品ノ價格トノ他ノ關係ト、ソレカラ輸出品ノ價格トノ關係ニ付キマシテモ、申スマデモナク今日我ガ國ノ輸出品ノ主ナルモノトシマシテハ、生絲ノ外ニ御承知ノヤウニ各種ノ纖維ノ織物其ノ他ノモノガザイマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ、國內ノ生產配給等ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、非常ニ周密ナル統制ガ行渡ツテハ、御承知ノヤウニ今日ノ場合其ノ必要已ムヲ得ズシテ行ハレテ居ルノデハアリマスケドモ、是ハ努メテ需要地ノ需要ニ適合シタルモノヲ成ベク有利ニ販賣スルト云フコトノ爲ニ、生産者ニシマシテモ、優秀ナル生産者ヲシテ之ニ當ラシメルシ、

リマスルガ、アメリカニハ「シャーマン」法トカト云フ法ガアルヤウニ聞イテ居リマス、先程貿易局長官ハ、「アメリカ」方面ニ於テハ、幅ガ若干アルコトヲ喜ンデ居ルヤウデアルト云フコトヲ極メテ明瞭ニ申サレタノデアリマスガ、サモアルコト私ハ思フノデアリマス、獨リ我ガ日本ガ統制セラレテ居ツテモ、我ガ日本ノ力ガ果シテ眞ニ、滿洲及ビ文那ニ及ンデ居ルカ、斯ウ云フコトヲ種々考ヘマスト、前途容易ナラヌ努力ヲ必要トルノデアリマス、支那ニ於テモ上海ノ如キ國際都市ニ於テノ仕事ハ、相當ニ難儀セザルヲ得ナイト思フノデアリマス、萬一日本ノ輸出全體ヲ一元化シタモノニスルト云フヤウナ場合ニ於テハ、此ノ「シャーマン」法ニ抵觸スルヤウナコトガ、或ハアリハセヌカトモ實ハ思フノデアリマスガ、ドンナ風ニ御覽ニナツテ居ラルカ、一寸伺ツテ見タイノデアリマス

コトヲヤレバ「シャーマン」法ニ反スルトカラ、隨テ「アメリカ」カラ非常ナ問題ヲ起ス虞ガアルト云フ、サウ云フ議論ノアツタコトモ承知致シテ居リマス、無論問題方起キテ裁判所ノ問題ニナツタ譯デハアリマセヌカラ、「アメリカ」ノ法律カラ見マシテ、サウ云フコトガ問題ニナツテ、果シテ制裁ヲ受ケルヤウナ結果ニナルモノデアルカ、ドウカニ付キマシテハ、私モ詳シクナイカラ能ク存ジマセヌガ、當時同フニ店ヲ持ツテ居リマスル日本ノ生絲ノ輸出業者ガ、關係ノ「ロードヤー」ニ付テ色々研究ヲサレタ結果、サウ云フコトヲヤツテ「アメリカ」ヘ來テ一手デ賣レバ、所謂「シャーマン」法ニ反スル虞ガアルト云フヤウナコトモ、當時私共ハヨク聞カサレタノデアリマス、唯私ハ其ノ際ニ、詳シク法律ハ存ジマセヌガ、要スルニ是ハ「アメリカ」ノ國內法デアリマスカラ、日本ノ國內デ賣人ガ一ツニナツテ居ツテモ、之ヲ受ケテ買ツテ行ツクモノガ、「アメリカ」ニ於テ數軒ノモノニナツテ、バラ／＼ニ賣ルト云フコトニナレバ、ソレハ「アメリカ」ノ國內法ダカラ差支ヘナイデハナイカト當時私ハサウ思ヒマシタ、若シ此ノ會社ガ「アメリカ」ノ「ニューヨーク」ニ出張所ヲ設ケマシテ、生絲ノ販賣ヲ獨リデヤル、斯ウ云フヤウニ出張所ヲ「ニューヨーク」ニ於テ設ケルヤウナコトニデモシタラ、或ハ其ノ會社ノ支店ハ此ノ法律カラ見テ、疑ハレルヤウ云フモノガバラ／＼ニ商賣スルト云フコスルニサウ云フ會社ヲ一ツニシテ輸出屋ト云フバラ／＼ノモノニ賣ラセテ、向フデサニナレバ、ソレデ差支ナイノデハナイカ、當時色々ナ議論ガアリマシタ際ニ、私共ハ

サウ云フ風ニ問題ヲ解釋シテ居ツタノデアリマス、併シ是ハサウ云フヤウナ具體的ナ
問題ニ至ラズニ、唯議論ノ程度デ終ツテ是ガ向フニ支店デモ設ケマシテ、此ノ會社
ガ直輸ヲヤツテ、向フデ一手販賣ヲスルト云フヤウナコトヲ致シマスト、先程申上ゲ
マシタヤウナ關係カラ、或ハ問題ニナリハシナイカト想像モ致サレマスガ、横濱、神
戸デソレトハ別個ノ店ノモノガソレ貿易ケテ、サウシテ現在通りニ行ツテ賣ルト云
フコトデアリマスレバ、或ハ抵觸シナイト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、是ハシ
ダ理窟トシテ成立ツテ居ラヌカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ御質問ニ對シテハ思フ
次第デアリマス

○松岡委員 豊絲局長ノ御説明ニ依リマシテ、輸出方面ヲ一元統制ノ上カラ除外シタル云フコトニ付テハ、何カ「アメリカ」ノ法律關係ニモ依ル所アリハセヌカト思ツテ、若干ナリトモ、サウ云フ點ガアリハセヌカト思ツテ御質問シタ所ガ、全然是等ノコトハ考慮ニ入ツテ居ラス、向フハ向フデ解釋スルノデアツテ、何等ニ關係ナイト云フコトガ明瞭ニナツタ、又先程來ノ貿易長官ノ御説明ニモ依リマシテ、連日來ノ質問應答ガ明カニナツタコトヲ、私ハ喜ブノデアリマス、本案ハ私ガ最初ニ申上ゲタ如ク、外貨獲得ノ上ニ於テ重大ナ役割ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、刻下ノ貿易關係ノ上カラ見テ極メテ大切ナル地位ヲ占ムテ居ルト云フコトモ、明カニナツタノデアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 松岡君ノ質問ニ關聯シタル部分ニ付テ、加藤サンノ御發言ヲ願ヒマス

○加藤(知)委員 松岡君ノ御質問ニ對シテ、貿易局長官ノ御答ヘニナリマシタ其ノ一節ニ付テ、特ニ貿易局長官ニ御尋ネラ申上げタイト思フノデアリマス、貿易局長官ノ御話ヲ伺ヒマスト、向フノ絹業者ハ價格ガ一定シテ居ルヨリモ波瀾ノアル方ヲ喜ンデ居ル、斯ウ云ヤウニ今御説明ニナツタヤウニ承知シテ居リマス、其ノコトハ既ニ自分モ向フニ居ツテ、日本へ歸ヘルナリ本省ノ方へ報告シテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマス、ソコデ私ガソレニ對シテ實ハ異様ニ感ジマスノハ、丁度貿易局長官ガ向フカラ御歸ヘリニナルノト行キ違ヒニ、私共ハ向フ結果ニ依リマスト、向フノ絹業者ハ波瀾ノ

○松岡委員 豊絲局長ノ御説明ニ依リマシテ、輸出方面ヲ一元統制ノ上カラ除外シタ云フコトニ付テハ、何カ「アメリカ」ノ法律關係ニデモ依ル所アリハセヌカト思ツテ、若干ナリトモ、サウ云フ點ガアリハセヌカト思ツテ御質問シタ所ガ、全然是等ノコトハ考慮ニ入ツテ居ラヌ、向フハ向フデ解釋スルノデアツテ、何等之ニ關係ナイト云フコトガ明瞭ニナツタ、又先程來ノ貿易長官ノ御説明ニモ依リマシテ、連日來ノ質問應答ガ明カニナツタコトヲ、私ハ喜ブノデアリマス、本案ハ私ガ最初ニ申上ゲタ如ク、外貨獲得ノ上ニ於テ重大ナ役割ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、刻下ノ貿易關係ノ上カラ見テ極メテ大切ナル地位ヲ占メテ居ルト云フコトモ、明カニナツタノデアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 松岡君ノ質問ニ關聯シタル部分ニ付テ、加藤サンノ御發言ヲ願ヒマス○加藤(知)委員 松岡君ノ御質問ニ對シテ、貿易局長官ノ御答ヘニナリマシタ其ノ一節ニ付テ、特ニ貿易局長官ニ御尋ネラ申上ゲタイト思フノデアリマス、貿易局長官ノ御話ヲ伺ヒマスト、向フノ絹業者ハ價格方一定シテ居ルヨリモ波瀾ノアル方ヲ喜ンデ居ル、斯ウ云フヤウニ今御説明ニナツタヤウニ承知シテ居リマス、其ノコトハ既ニ自分モ向フニ居ツテ、日本へ歸ヘルナリ本省ノ方へ報告シテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマス、ソコデ私ガソレニ對シテ實ハ異様ニ感ジマスノハ、丁度貿易局長官ガ向フカラ御歸ヘリニナルノト行キ違ヒニ、私共ハ向フノ方へ行ツタノデアリマス、私共ガ向フノ絹業者ニ付テ出来ルダケ調査ヲ致シタ其ノ

アルコトヲ非常ニ迷惑ニ感ジテ居ル、ソコ
デ此ノ席上ニ於テ此ノ間モ私ハ申上ゲマシ
タガ、貿易局長官モ蠶絲局長モ能ク御承知ノ
通り、「シカゴ」在ニ居ル所ノ「ハイネマン」此
ノ人ハ絹絲業者デアル、而シテ一面ニ於テ
ハ相場ヲヤツテ居ル人デアル、「ヂャーリー」
ト相對峙シテ、中々日本ノ生絲ニ付テハ思
ヒ切ツタ相場ヲヤツテ居ル人デアルコトハ、
御承知ノ通リデアリマス、其ノ「ハイネマ
ン」ニ對シテ、私ガ此ノ老軀ヲ提ゲテワザ
ワザ此處マデ來タノハ、アナタノ日本ノ生
絲ニ對スル所ノ眞ニ遠慮ノナイ御批評ヲ戴
キタイ、是ハ日本ノ蠶絲業ノ興廢ニ關スル
問題デアル、アナタガ日本蠶員ダト云フコ
トヲ承ツテ居リマシタガ、アナタノ御意見
ヲ率直ニ伺ヒタイ、斯ウ言ウテ私ハ特ニ「ハ
イネマン」ヲ訪ネテ意見ヲ叩イタ、其ノ時通
譯ヲシテ吳レタノハ中里ト云フ人デアリマス、
トナラ、私ハ商賣ヲ離レテ自分ノ考ヘテ居
ルコトヲ、日本蠶絲業ノ爲ニ率直ニ申上ゲ
マセウ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレタ、
其ノ一例ニ絲價ノ安定ノコトヲ言ツタノデ
アル、其ノ安定ト云フコトハ一定ト云フコ
トデアル、絲價ガ一定スレバ、價ハ少々高
クテモ、吾々共ハ喜ンデ之ヲ買フノダ、我
ガ米國ニ於ケル絹業者ハ、喜ンデ之ヲ買フ
タ、其ノ中デ最モ力ヲ入レテ話ヲシタノ
ガ、今申上ゲル絲價ノ安定デアル、安定ト
云ヒマスノハ、私共ハ其ノ當時一定ト聞

「ハイネマン」以外ノ向フノ絹業者ニ付テ、アチラコチラト訪問ヲシテ、其ノ話ヲ聞イタ譯デアリマス、所ガ何レノ絹業者モ、自分等ハ商業利潤デ飯ヲ食ツテ居ルノデナイ、工業利潤デ飯ヲ食ツテ居ルノダ、所謂工賃ダ、ソレニ甘ンジテ居ルノダ、ダカラ日本ノヤウニ斯ウ云フ暴騰暴落ガアツテハ、恐ロシクテ日本絲ハ買ヘナイノダ、斯ウ云フコトヲ皆言ツテ居ル、御承知ノ如ク「ベンシルヴァニア」初メ、其ノ他南部四州ニ亘リマシテ、四百二ノ絹靴下工場ガアル譯デアリマス、ソレ等ノ絹靴下工場ノ人達ハ、全ク田舎ニ居ルノデアリマシテ、工業ヲ經營シタ上ニ更ニ商業的ナ經營ヲヤルト云フコトニ付テハ、十分意ノ如クニハ行カナイ、行カナイカラ、相場ノ上リ下リノ變動ニハ、非常ニ迷惑スルコトハ當然ナ話デアル、デアルカラ價格ノ一定ヲ希望スル譯デ、サウナレバ安心シテ仕事ガ出來ル譯デアル、デアルカラ左様ナ希望ヲ吾々ニ漏ラスコトハ當然デアルト私共ハ實ハ聞イタ譯ナノデアリマス、而シテ日本生絲ハドウ云フ狀態ニ依ツテ取引セラレテ居ルカト云フコトハ、是ハ今私ガ車上ゲルマデモナイ、向フニ日本生絲ヲ輸出スル所ノ三井、三菱ヲ初メ、原トカ、旭「シルク」トカ、郡是、片倉ト云フヤウナ七、八軒ニ過ギナイ、ケレドモ、其ノ大部分ハドウ云フヤリ方ヲシテ居ル譯デアル、此ノ生絲貿易即チ賣子ヲ使ツテ賣買シテ居ル、其ノ賣子ナルモノハ賣上高ニ應ジテ「コミッシヨン」ヲ貰ツテ居ル譯デアル、此ノ生絲貿易所ノ輸出商、向フニ於ケル所ノ輸入商デア

ル、是等ノ人達ガ所謂暴騰暴落ノ餉ヲ利用シテ儲ヶヨウト云フヤウナヤリ方ヨシテ居ル譯デアル、「ニュー・ヨーク」ニ於ケル所ノ取引所ヲ利用シテ居ルノハ大部分ハ日本人デアル、八割五分ハ日本人デアル、サウ云フヤウナ實情ニアルコトハモウ私ガ申上ゲルマデモナイ、ソレ等ノ人達ハヤハリ相場ノ變動ニ旨味ヲ持ツテ居ル譯ナノデアルカラ、是ガナケレバドウモ旨ク行カヌト云フヤウナコトヲ申スノハ是ハ當然ナ話ナノデアル、ケレドモ今申上ゲテ居ル所ノ網靴下工場ノ人達ハ皆價格ノ一定、安定ヲ冀ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ吾々ハ能ク聞イダノデ實ハ此ノ間モ此ノ絲價ノ安定ト云フコトニ付テ申上ガタ譯デアリマス、デアリマスカラ只今貿易局長官ノ仰シヤツタコトハ吾々ノ聞イタコトハ全ク反對デアル、此ノ點ニ付テ今一應私ハ貿易局長官ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

縄絲ヲ使ツテ色々ノ製品ヲ造ツテ居ル工場ヲ訪ネタリ、サウ云フ業者ノ人達ニ會フ機会モゴザイマシタノデ、其ノ時ニ聽イテ見テノコトナノデアリマス、人絹ノ織物ナリ編物モ結構ダガ、ドウモ儲ケガナイノデ面白クナイト言ツテ居ル、是ハ人絹ガ使ハレ始メタ頃ノ話デハアリマセヌ、モウ人絹ガ普及シテシマツタ後ノコトデアリマスガ、サウ云フコトヲ申シテ居ツタノデアリマス、ソレハ詰リ原絲ノ値段ハ鏡ニ掛ケタヤウニハツキリ分ツテ居ルシ、ソレニ生産費モハツキリシテ居ル、其ノ爲ニ製品ノ買手ノ方カラ叩カレダケ叩カレル、結局働クダケ非常ニ働くカサレテ、競争が多イ爲ニ利潤ガ乏シクナル、其ノ點カラ寧ロ生絲ヲ安定スルコトハ必要デアルケレドモ、餘リ一定シテシマフコトハ考ヘモノダト云フコトヲ申シテ居ツタノデアリマス、ソレデ私共モ絲價ノ安定ト云フコトハ非常ニ必要デアルト云フコトヲ豫ネ／＼聞イテモ居リマシタシ、私共モ左様ニ感ジテ居リマシタガ、左様ナ話ヲ聽キマシテ、成程細カク言ヘバサウ云フコトデアルカト云フコトヲ感ジタヤウナ次第デゴザイマス、デアリマスカラ私モ先程波瀾ト云フ言葉ヲ確カニ使ヒマシタガ、波瀾ト云フ言葉ハ少し強過ギル言葉デアリマシテ、左様ナ言葉ハ使フベキデハナカツタと思ヒマス、詰リ大キナ變動ハイカヌガ、多少ノ動キノアル方ガ、却テ現在ノ「アメリカ」ノ實情カラ見マシテ、之ヲ賣ツテ行ク上ニ都合ガ好イヂヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

ゲテ置キマス、只今絹業者ノ中デハ聽カヌ
ト云フ御話モアリマシタ、吾々ガ行ツタ時
モ此ノ人絹ニ付テ、ドウモ價格ガ一定シテ
居ツテ旨味ガナイト云フ話ガアリマシタ、
ソレハドウ云フ人達ガ言ツテ居ルカト云フ
ト、「プローカー」ガ言ツテ居ル、眞面目ナ
ル絹業者ハ一人モサウ云フコトヲ言ツテ居
ラナイ、其ノ「プローカー」ガ言ツテ居ルコ
トヲ眞面目ニ御聽キニナツテ、米國ノ絹業
者ガ絲價ノ一定ヲ嫌ツテ居ルト云フコトヲ
御話ニナルコトハ非常ニ誤リト思フ、向ブ
ノ絹業者ハドウシテモ一定ト云フ話ヲス
ル、其ノ一定ト云フコトニ付テ吾々ニ對シ
テ人絹ノ例ヲ引イテ居ル、人絹ノ方ハ價格
ガ一定シテ居ル、ダカラ吾々ガ商賣ヲヤル
ニハ便益デアル、安心シテ商賣が出來ル、
絹業者ハ皆サウ云ツテ居リマス、ケレドモ
之ニ反シテ「ニューヨーク」邊リニ居ル「ブ
ローカー」連中、先刻申上ゲタ割位ノ利
益ノアル「プローカー」ノ連中ニ言ハセル
ト、ドウモ多少ノ上り下りガナクテハイカ
ス、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、ダカラ「ブ
ローカー」ノ言フコトト、眞面目ナル絹業
者ノ言フコトニハ非常ナル相違ガアルト云
フコトダケヲ私ハハツキリ申上ゲテ置キマ
ス、尙ホ色々御尋ネセンケレバナラヌコト
モアリマスケレドモ、ソレハ後ニシテ私ノ
質問ハ是打切ツテ置キマス

○高橋委員長 關聯シテ芦田君ヨリ貿易局
長官ニ質疑ヲシタ伊ト云フコトデアリマス、
ノ重要ナル議論ノ題目トナツテ居ルコトハ
關聯シタ事項ダケニ付テ御發言ヲ願ヒマ
ス——芦田君

○芦田委員 絲價安定ノ問題ガ此ノ委員會
ノ重要ナル議論ノ題目トナツテ居ルコトハ
御承知ノ通リデアリマス、此ノ委員會デ農
林省ノ蠶絲局長ノ御答辯ノ輸出生絲ノ絲價
安定ノ問題ニ付テハ、多少吾々共納得ノ行
カナイ點ガアルト思フノデアリマス、只今
貿易局長官カラノ御答辯ヲ伺ツテ居ルト、
ドウモ政府側ノ御答辯ガ必ズシモ統一シテ
居ナイヤウニ感ジマス、私ノ聽誤リデナケ
レバ、今朝ノ委員會デアリマシタカ、蠶絲
局長ノ方デハ生絲ヲ「アメリカ」ニ輸出スル
際ニハ、數量ガ少々減ツテモ出來ルダケ高
イ值デ賣リタイノダト云フヤウナ御意見ガ
アツタ、ソレカラ貿易局長官ノ方ハ、ハツ
キリハ御示シガナカツタガ、恐ラク現在ノ
挺入レ値段千三百五十圓程度ガ値頃ニア
ル、但シソレニ多少ノ含ミヲ持タセルコト
ガ味ガアル、斯ウ云フ御答辯グラウト推測
スルノデアリマス、私個人トシテノ立場ヲ
申上ゲマスガ、現在ノ挺入レ價格千三百五
十圓ハ現在ノ「アメリカ」ノ經濟狀況ノ下ニ
於テハ略適正値段デアラウト考ヘテ居ル、
申スマデモナク濱渡シ千三百五十圓ト云フ
値段ハ米貨ニ計算致シマシテ「ボンド」當リ
ガ大體二「ドル」五十「セント」前後 即チ二
「ドル」二十五「セント」カラ二「ドル」七十五
「セント」ノ間デアリマス、ソレデ靴下ヲ造
リ上げテ大體原價計算ガ七十九「セント」ト
「ドル」以上ニナツテハ賣レマセヌ、好景氣
ノ絶頂デアツタ一九二九年ニ於テサヘモ四
千圓ノ絲ヲ持ツテ行ツテ靴下ヲ造ツテ相當
高イ値段デ賣ツテ見タガ、ドウシテモ賣レ
ナイ、「アメリカ」ノ市場デハ一足ノ靴下ニ
付テ「ドル」以上ノ價格デハ賣リニクイト
ルダケ高ク上ゲテ、分量ハ少クテモ宜イト
云フコトガ大體ノ常識デアリマス、ドウシ
テモ七十九「セント」程度ノ靴下ヲ造ルニ

ハ、現在ノ計算カラ參リマシテ絹靴下ノ一
「ダース」ノ製造家ノ利益ガ二十五「セント」
デアリマス、所ガ「ナイロン」ノ靴下ヲ一
「ダース」造ル場合ニハ利益計算ガ三「ド
ル」ト云フコトニナツテ居ル、隨テ製造家
ハ生絲ヲ使フヨリモ「ナイロン」ヲ使ツタ方
ガ「ダース」ニ付テ「ドル」七十五「セン
ト」ノ利潤ガアル、ソレデ「ナイロン」ノ
生産ガ少イニ拘ラズ「ナイロン」ガ業者カラ
希望サレルト云フ理由ニナツテ居ルト思フ、
僅カニ「ダース」ニ付テ二十五「セント」ノ
利益ヲ取ツテ千三百五十圓ノ絲デ靴下ガ出
來ル、斯ウ云フ現狀デアリマスカラ、昨年
ノヤウニ暴騰ア重ネテ千七百圓臺ニナツタ
ラ既ニ引合ハナイ、況ヤ二千圓以上ノ生絲
ニナツテハ靴下業者ハドウシテモ生絲ヲ消
費スルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ狀況デアリ
マスカラ、現在ノ「アメリカ」ノ經濟狀況カラ
言ツテ、千三百五十圓ノ挺入値段ガ適正値
段ダト斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル、隨テ將來
「アメリカ」ノ經濟狀況ガ變レバ別デスガ、
大體ノ目安トシテハ千三百五十圓ノ價格ヲ
標準ニシテ絲價ヲ安定シテ行カレルト云フ
コトガ適當ダト私共ハ考ヘル、之ニ對シテ
農林省側ノ御意見ハ少シ其ノ點ニ於テ私共
ハ納得ガ出來ナイ、ナゼナラバ分量ハ少々
減ラシテモ宜イガ、値段ハ高ク賣リタイ、
斯ウ云フ御意見ノヤウニ聽イタ、或ハ其ノ
點ハ間違ヒデアツタカモ知レマセヌガ、併
シサウ云フ考ヘ方デハ生絲ノ輸出ハ益、不
ス——芦田君

○石黒政府委員 御答へ致シマス、一般的
ニ輸出値段ノコトヲ見マスルト、非常ニ少
イ品物ヲ輸出致シマス場合ニハ、是ハ成ベ
ク高ク賣ル方ガ宜イト思ヒマス、ソレカラ
相當ニ品物ガアルト云フ場合ニ於キマシテ
ハ、結局生産費ヲ割ルヤウナ安イ値段デハ
ク高ク賣ル方ガ宜イト思ヒマス、ソレカラ
イケマセヌガ、生産費以上ノ良イ値段ニ於
此ノ生絲ニ付キマシテハ、農林當局ノ方カラ
ニ、詳細ニハドウ云フ御答辯ニナツタカ存ジ
然左様デアラウト思フノデアリマス、所デ
タモノノ積ノ大キヤウナモノニナルコト
ガ現在ノ我國ノ經濟狀況カラ申シマシテ一
番宜イノデアラウ、是ハ何事ニ付ケテモ當
キマシテ、要スルニ價格ト數量ヲ掛合ハシ
タモノノ積ノ大キヤウナモノニナルコト
付テ申シマスナラバ、一番確カナ生絲ニ對
デアリマス、御承知ノヤウニ假ニ「アメリ
カ」市場ニ於ケル生絲ノ需要ト云フコトニ
ノデ、意見ハ大體同ジヤウニ持ツテ居ル譯
テアリマス、御承知ノヤウニ假ニ「アメリ
カ」市場ニ於ケル生絲ノ需要ト云フコトニ
付テ申シマスナラバ、一番確カナ生絲ニ對
デアリマス、ソレカラ下着類デアルトカ、
或ハ一般ノ「ブロード・シルク」ト云フヤウ
ル程度澤山ニ生絲ヲ賣ラウト云フノニハ多
少値段ヲ下ゲルコトニ依ツテ澤山賣ル、而
モ生產費ヲ割ラナイ、十分採算ガ取レルト

「セント」ハ今ノ爲替カラ申シマスルト約百二十圓、結局日本ノ相場ニ於テ百二三十三十圓相場ガ上ガツタト云フコトハ、百二三十三十圓百斤ノ生絲ニ付テ上ガツタト云フコトデ、タト云フコトニナリマス、サウスレバーボンドニ付テ二十「セント」向フノ相場ニスレバ上ガツタト云フコトニナリマス、一「ボンド」ノ相場ニ付テ二十「セント」上ガルト云フコトハ靴下ニ當テテ見マスト、一足ニ付テ一「セント」窮屈ニナツタト云フコトデ、是ハ理窟デアリマスガ、ソレダケノ影響ナノデアリマス、八十錢カラ八十五錢、九十錢程度ノモノガ大衆向キノ靴下ト言ハレテ居ルノデアリマスルガ、原料ト致シマシテハ大體一足ノ靴下ニ付テ十二、三「セント」カ十五「セント」程度ノモノガ原料代デ、アトハ「アメリカ」ニ落チテ居ルモノデアリマス、ソレヲ「セント」ダケ窮屈ニシテ貰フト云フコトニ依ツテ百圓バカリ上ガルト云フコトニナルノデアリマシテ、値上リハ圓ノ相場デ見マスルト非常ニ上ツタヤウニ見エルノデアリマスガ、今日ノ爲替ニ於テ本當ノ靴下マデ及ボシテ考ヘテ見マスルト僅カノモノデアリマス、斯様ナ考ヘデルリハ圓ノ相場デ見マスルト非常ニ上ツタヤウニ見エルノデアリマスガ、今日ノ爲替ニ於テ本當ノ靴下マデ及ボシテ考ヘテ見マスルト僅カノモノデアリマス、斯様ナ考ヘデル方ガ宜カラウ、斯様ナ意味デ申シタコトヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス

是ハ一本ニハ違ヒナイン、デアリマスルガ、申上ゲルマデモナク十四中「ビー」格ヲ標準トジテ輸出生絲ノ價格ガ協定サレテ居ルノデアリマス、今長官ノ説明ヲ承ツテ居リマスルト、向フノ機業者ガ人絹ヲ原料トシタ場合ニ餘リ人絹ト云フモノガ規格ガ單純デアル、ソレデアルカラ原料ガドウ云フヤウナ規格ノ絲、ドウ云フヤウナ價格ノ絲ヲ使ツタカト云フコトガ直ダ分ル、ソレダカラ機業者トシテ面白味ガナイ、ダカラ絹絲ニナレバ、ソコニ色々々ナ動キガアル爲ニ、原料ノ價格ガハツキリシナイト云フ所ニ妙味ガアルト云フ御説明ノヤウニ承ツタノデアリマス、サウシマスト絹絲ニ仕上ゲタ上ニ、是ハ「ツ一・エ一」ノ格ノ絲ヲ使ツタカ、「ディ一」格ノ絲ヲ使ツタカ、「ビ一」格ノ絲ヲ使ツタカト云フコトガ分ラナイ筈ダラウト思フ、「アメリカ」ノ市場ニ出テ居リマスモノモ「ディ一」格以上ノ絲ガ色々々雜多ニ出テ居ルモノアリマスカラ、其ノ機業者ガ原料ガ必ズシモ「エ一」格デナケレバ靴下ガ出来ナイト云フ譯デハナイノデアツテ、「ディ一」格ノ絲モ或ハ格外ノ絲モ二十一申ノ絲モ使ツテ居ル譯デスカラ、是ハ少シモ第三者カラ見テ何格ノ絲ヲ、何ボノ値段ノ原料ヲ使ツテ居ルンダト云フコトヲ明ケツ放シニ見透カサレルコトノナイヤウニ吾々素人トシテ考ヘルノデアリマス、ドウモ少シ動キノアルコトガ「アメリカ」ノ市場ニ於テ宜イト云フ御説明ニ付テノ實例ヲ御擧ゲニナツタコトニ付テ少シ腑ニ落チナイカラ承ツテ置キマス

モ、所謂二一本ノモノ、三本ノモノ、四本ノモノ等色々アル譯デアリマシテ、例ヘバ「ツーツウイスト」ノ二一本撚絲ノ靴下モ造ル、而モ疵ノナイモノヲ造ルト云フコトノ爲ニヘ、ドウシテモ、例ヘバ「スペシアル・シリーエー」位ハ使ハナケレバナラヌ、「スペシアル・シリーエー」格ノ中デモ又良イモノヲ使ハナイト疵物、「ローズ」物ガ出ル、或ハ三本撚ノ場合ニハドウト云フ風ニ、大體ハ標準ガ出来テ居リマシテ、ソレデ若シ例ヘバ「ディー」格位ノ絲デニ一本合セノ靴下ヲ造ツタ致シマスト、非常ニ疵ノ多いモノデ、餘程値段モ下ツテ來テ却テ工合ガ惡イト云フヤウナコトニモナル譯デアリマシテ、大體出來上リ品ヲ見マストドウ云フ程度ノ絲ヲ使ツタカト云フコトハ靴下ナドデモ分ルヤウデゴザイマス

○高橋委員長 ソレデハ本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明後日ハ午前十時カラ、午前午後ニ亘ツテ開會致シマス

午後五時散會

昭和十六年二月十六日印刷

昭和十六年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局